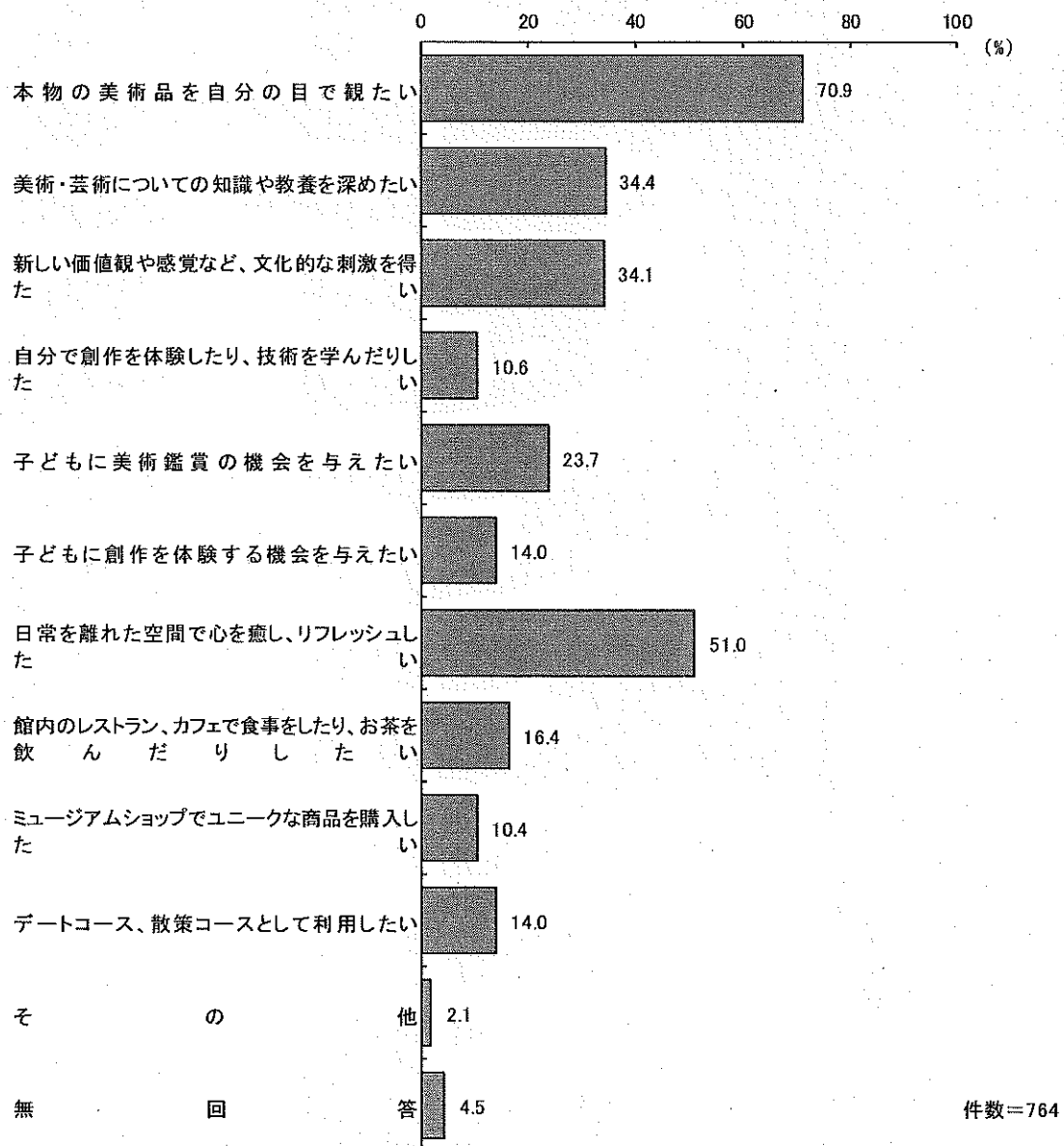


3 静岡県の文化施設等について

3-1 「静岡県立美術館」への期待

問18 あなたが県立美術館に行くとしたら、主にどのようなことを期待して行きますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図3-1-i 「静岡県立美術館」への期待】

【項目】	＜調査年度＞			
	H18	H21	H24	H27
本物の美術品を自分の目で観たい	67.7	70.2	72.6	70.9
美術・芸術についての知識や教養を深めたい	36.3	33.3	33.1	34.4
新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい	35.5	29.0	28.7	34.1
自分で創作を体験したり、技術を学んだりしたい	6.3	10.8	10.8	10.6
子どもに美術鑑賞の機会を与えたい	-	24.8	24.8	23.7
子どもに創作を体験する機会を与えたい	-	-	-	14.0
日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい	48.9	45.8	43.4	51.0
館内のレストラン、カフェで食事をしたり、お茶を飲んだりしたい	7.2	12.6	15.4	16.4
ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい	5.3	7.4	7.7	10.4
デートコース、散策コースとして利用したい	8.9	9.5	7.5	14.0
その他	2.1	1.1	2.6	2.1
無回答	13.1	9.8	4.7	4.5

＜全体＞

静岡県立美術館に期待することの第1位は、「本物の美術品を自分の目で観たい」70.9%で回答者の7割に上った。次いで「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」51.0%、「美術・芸術についての知識や教養を深めたい」34.4%、「新しい価値観や感覚など、文化的な刺激を得たい」34.1%の順となっている。

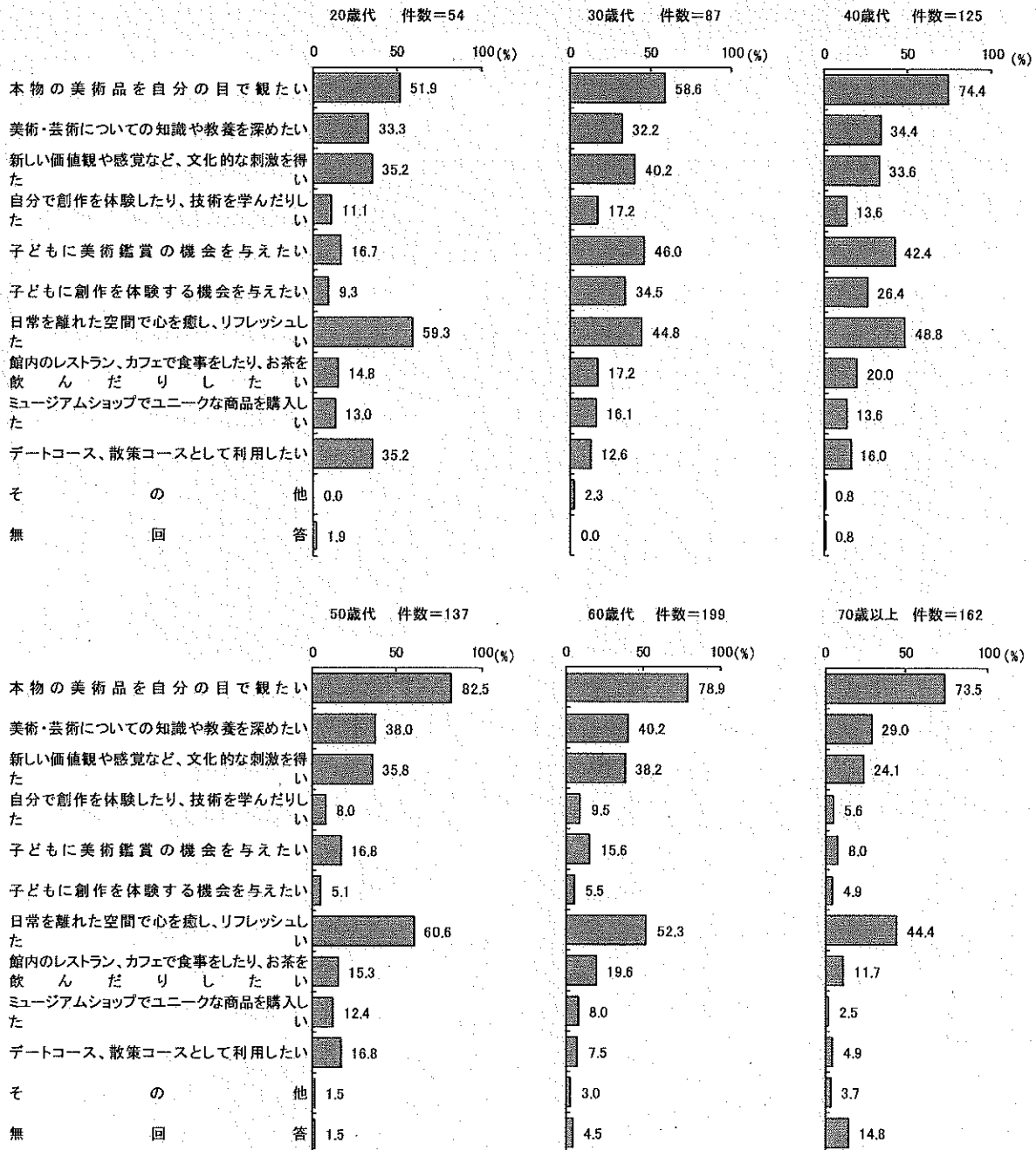
過去の調査と比較すると、「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」、「デートコース、散策コースとして利用したい」が平成26年度から割合が増加している。「館内のレストラン、カフェで食事をしたり、お茶を飲んだりしたい」や「ミュージアムショップでユニークな商品を購入したい」も年々増加傾向で推移している。

＜年代別＞

20歳代を除いた全ての年代で「本物の美術品を自分の目で観たい」が第1位となり、40歳代以上では7割を超えている。20歳代では「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」が第1位となっている。第2位は、20歳代で「本物の美術品を自分の目で観たい」、30歳代で「子どもに文化・芸術鑑賞の機会を与えたい」、それ以外の年代では「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」となっている。

また、「デートコース、散策コースとして利用したい」は20歳代(35.2%)、「子どもに美術鑑賞の機会を与えたい」「子どもに創作を体験する機会を与えたい」は30歳代(46.0%、34.5%)、40歳代(42.4%、26.4%)で比較的高い割合となっている。

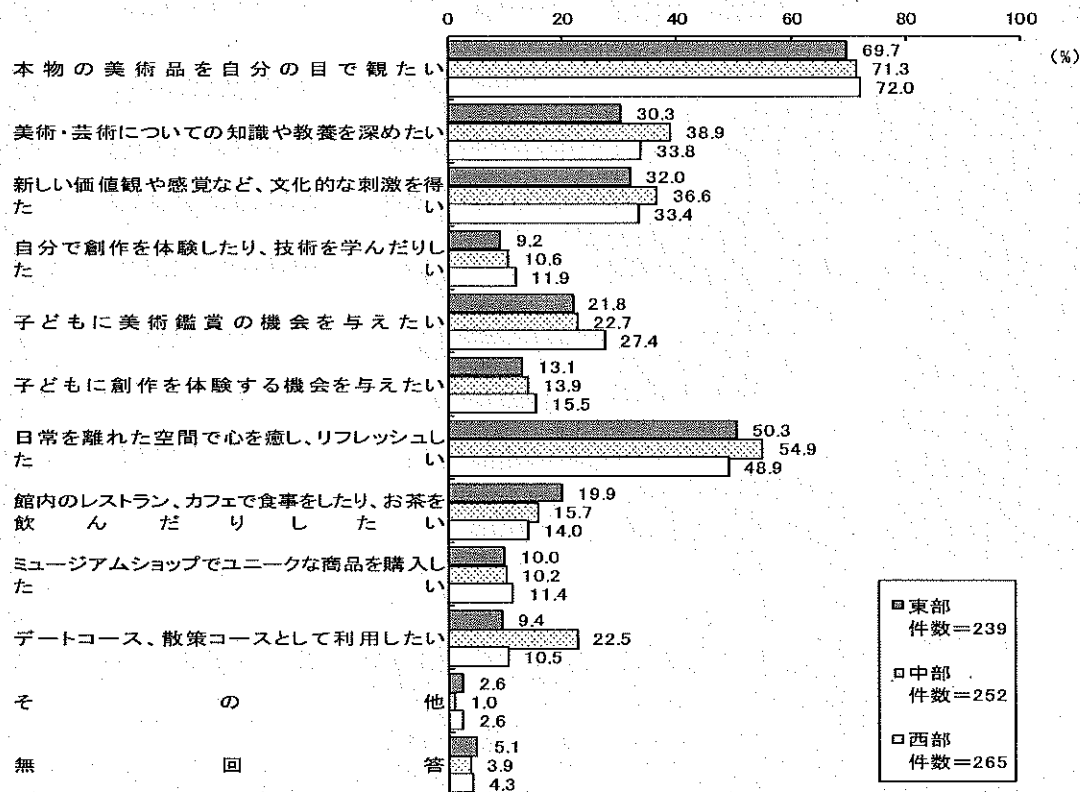
【図3-1-ii 年代別「静岡県立美術館」への期待】



<地区別>

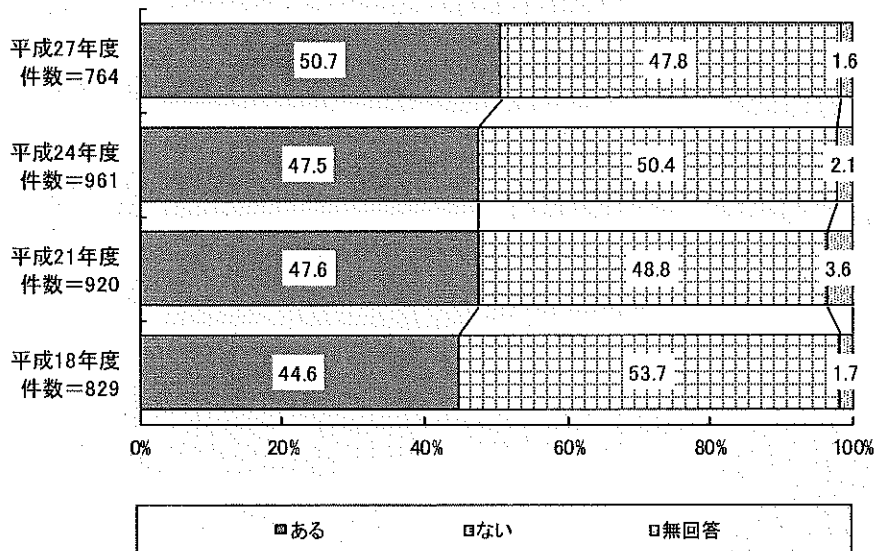
全ての地区で「本物の美術品を自分の目で観たい」が最も高く、西部地区で72.0%、中部地区で71.3%、東部地区で69.7%と、地域間で大きな差はみられない。また、全ての地区で「日常を離れた空間で心を癒し、リフレッシュしたい」が第2位となった。「デートコース、散策コースとして利用したい」は中部地区で22.5%と他の2地域に比べ高い割合となっている。

【図3-1-iii 地区別「静岡県立美術館」への期待】



3-2 「グランシップ」の利用経験

問19 あなたは、グランシップに行った(利用した)ことがありますか。



<全体>

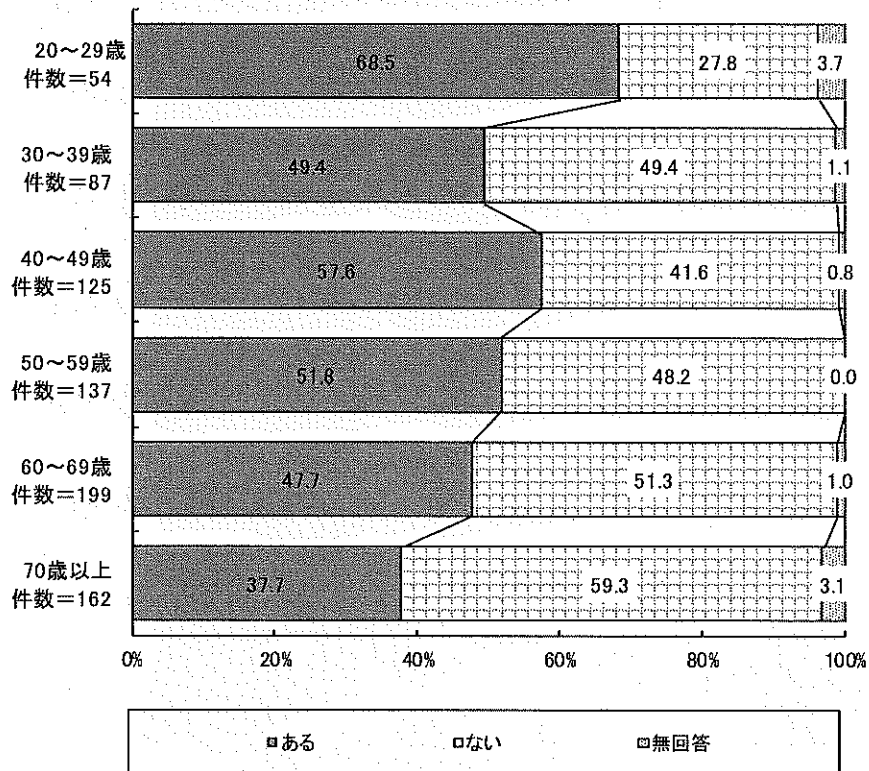
グランシップに行った(利用した)ことが「ある」は50.7%、行ったことが「ない」は47.8%となった。

過去の調査と比較すると、平成18年度以降、初めて「ある」が過半数を占めた。

<年代別>

行った(利用した)ことが「ある」が最も高いのは20歳代で68.5%となっている。最も低いのは70歳以上で37.7%、60歳代が47.7%の順となっている。

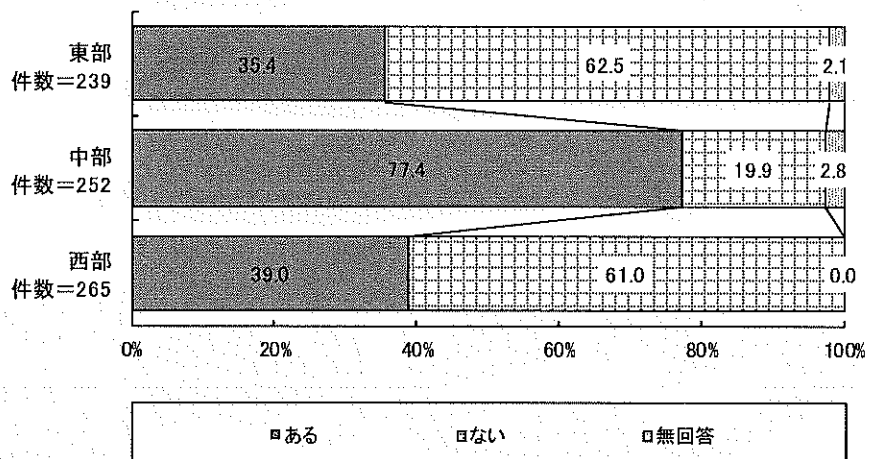
【図3-2-i 年代別「グランシップ」の利用経験】



<地区別>

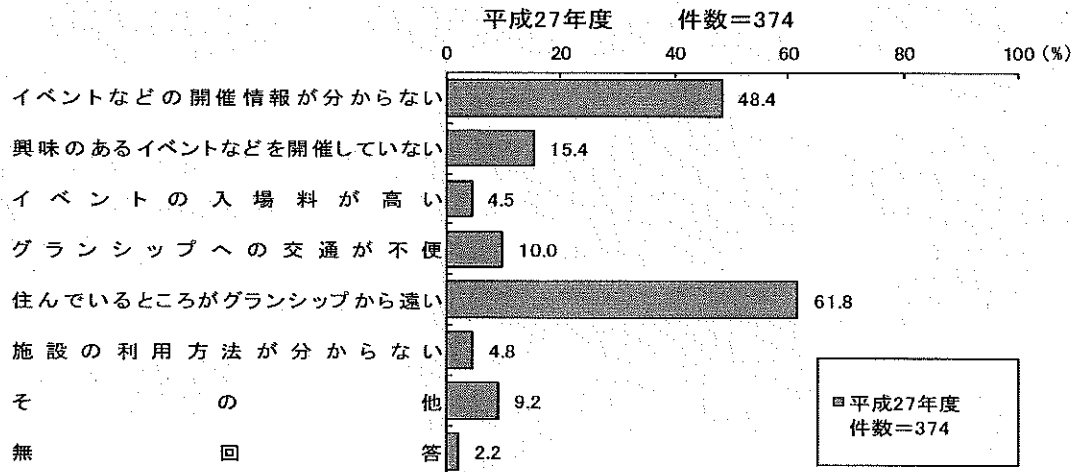
行った（利用した）ことが「ある」は、中部地区が77.4%と他の2地区を引き離している。東部地区は35.4%、西部地区は39.0%と、中部地区とでは38ポイント以上の差がある。

【図3-2-ii 地区別「グランシップ」の利用経験】



3-3 「グランシップ」の未利用理由

問20 問19で「2.ない」と回答された方にお聞きします。利用しない理由は何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



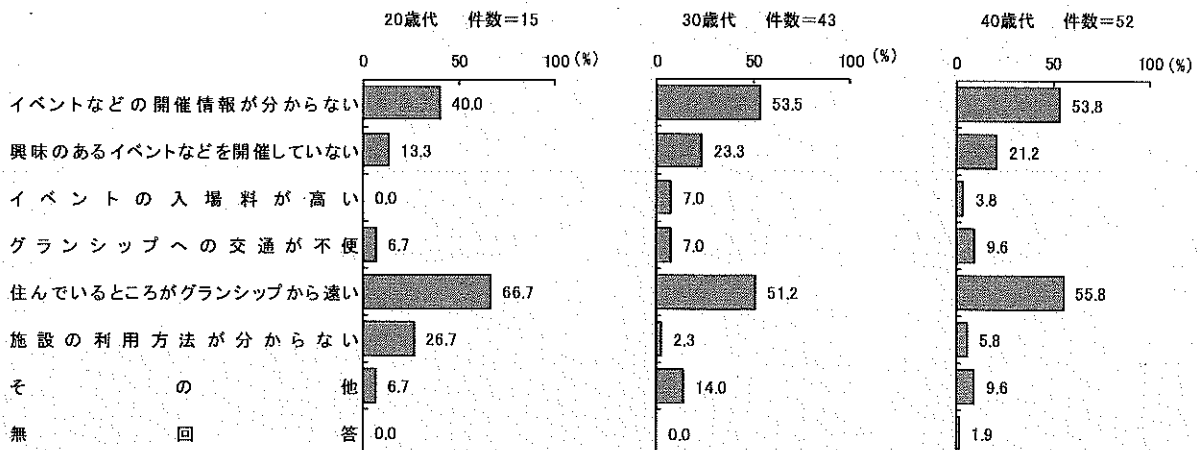
<全体>

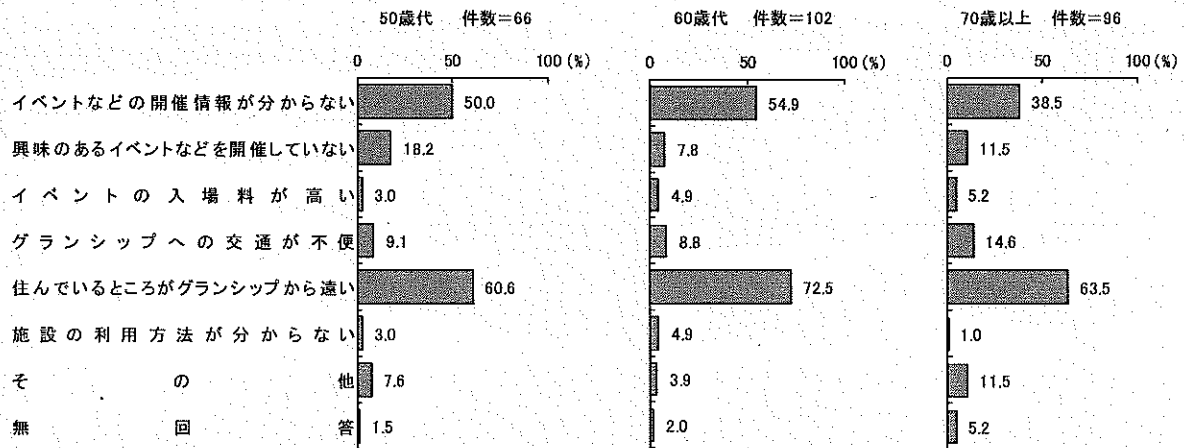
グランシップに行った（利用した）ことがないと回答した人（374人）が利用しない理由の第1位は、「住んでいるところがグランシップから遠い」で61.8%、第2位は「イベントなどの開催情報が分からない」48.4%で、他の項目を大きく引き離している。

<年代別>

全ての年代で「住んでいるところがグランシップから遠い」が5割以上を占め、30歳代を除いた年代で第1位となっており、次いで「イベントなどの開催情報が分からない」が第2位で続いている。30歳代は「イベントなどの開催情報が分からない」が第1位となり、次いで「住んでいるところが遠い」が第2位となっている。第3位は30歳代から50歳代で「興味のあるイベントなどを開催していない」、60歳代、70歳以上は「グランシップへの交通が不便」、20歳代では「施設の利用方法がわからない」が、それぞれ挙がっている。

【図3-3-i 年代別「グランシップ」の未利用理由】

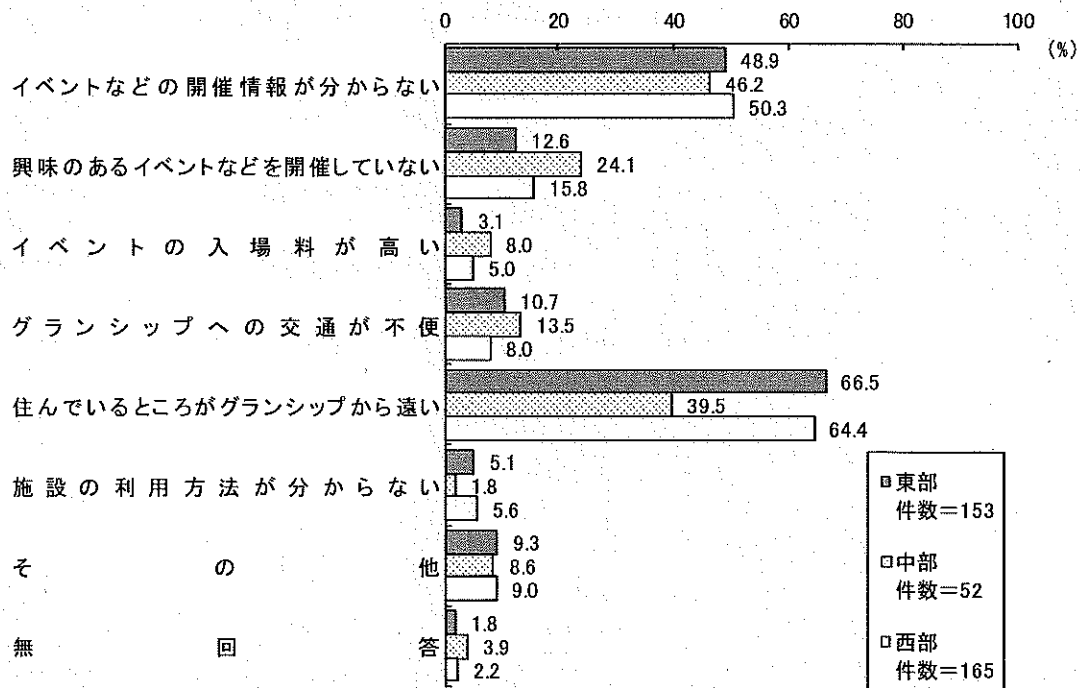




<地区別>

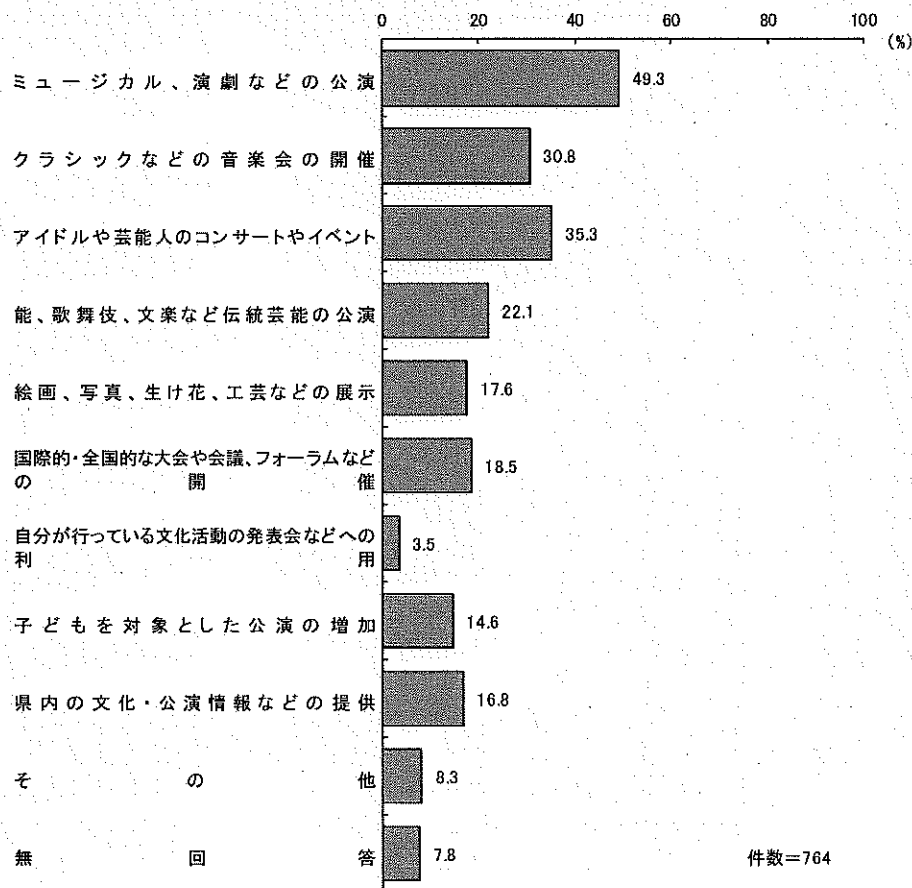
「住んでいるところが遠い」では、東部地区が66.5%、西部地区が64.4%と続き、中部地区は9.5%と他の2地区よりかなり割合が低い。「イベントなどの開催情報が分からない」は、西部地区が50.3%、東部地区が48.9%、中部地区が46.2%と大きな差はみられなかった。「興味のあるイベントなどを開催していない」は中部地区が24.1%と、他の2地区に比べ高くなっている。

【図3-3-ii 地区別「グランシップ」の未利用理由】



3-4 「グランシップ」への期待

問21 すべての方にお聞きます。あなたは、グランシップにどのようなこと(どういふことを行うべきか、どんな場になってほしいか)を期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図3-4-1 「グランシップ」への期待】

【項目】	＜調査年度＞ (%)			
	H18	H21	H24	H27
ミュージカル、演劇などの公演	36.7	42.1	44.6	49.3
クラシックなどの音楽会の開催	28.3	28.7	25.7	30.8
アイドルや芸能人のコンサートやイベント	-	-	-	35.3
能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演	19.2	18.8	22.2	22.1
絵画、写真、生け花、工芸などの展示	18.0	21.3	20.6	17.6
国際的・全国的な大会や会議、フォーラムなどの開催	17.9	21.0	21.9	18.5
自分が行っている文化活動の発表会などへの利用	3.7	4.0	3.5	3.5
子どもを対象とした公演の増加	0.0	17.8	18.7	14.6
県内の文化・公演情報などの提供	16.2	20.9	19.8	16.8
その他	3.9	7.9	9.9	8.3
無回答	8.7	16.3	9.5	7.8

<全体>

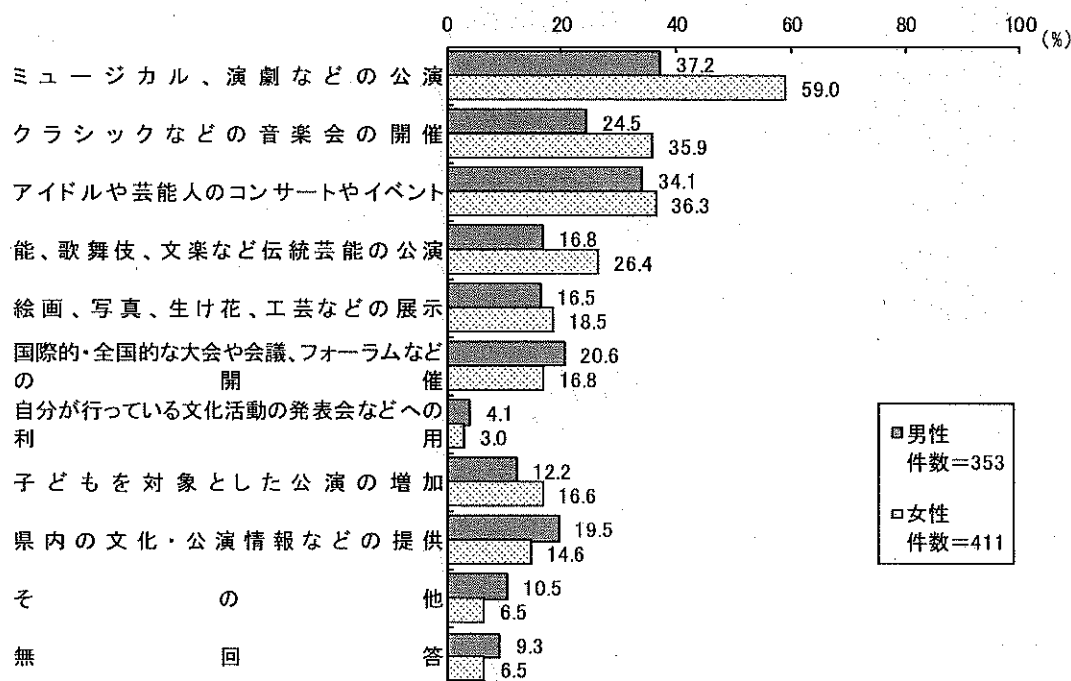
グランシップへの期待内容の第1位は、「ミュージカル、演劇などの公演をしてほしい」で49.3%、次いで「アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催してほしい」35.3%、「クラシックなどの音楽会を開催してほしい」30.8%、「能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演を開催してほしい」22.1%と続いている。

過去の調査と比較すると、「ミュージカル、演劇などの公演」は平成18年度以降、増加傾向で推移している。

<性別>

男女とも「ミュージカル、演劇などの公演をして欲しい」が第1位となっているが、男性が37.2%、女性が59.0%と21.8ポイントの開きがある。第2位、第3位も男女とも同じ項目で「アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催してほしい」（男性34.1%、女性36.3%）、「クラシックなどの音楽会を開催してほしい」（男性24.5%、女性35.9%）となっている。

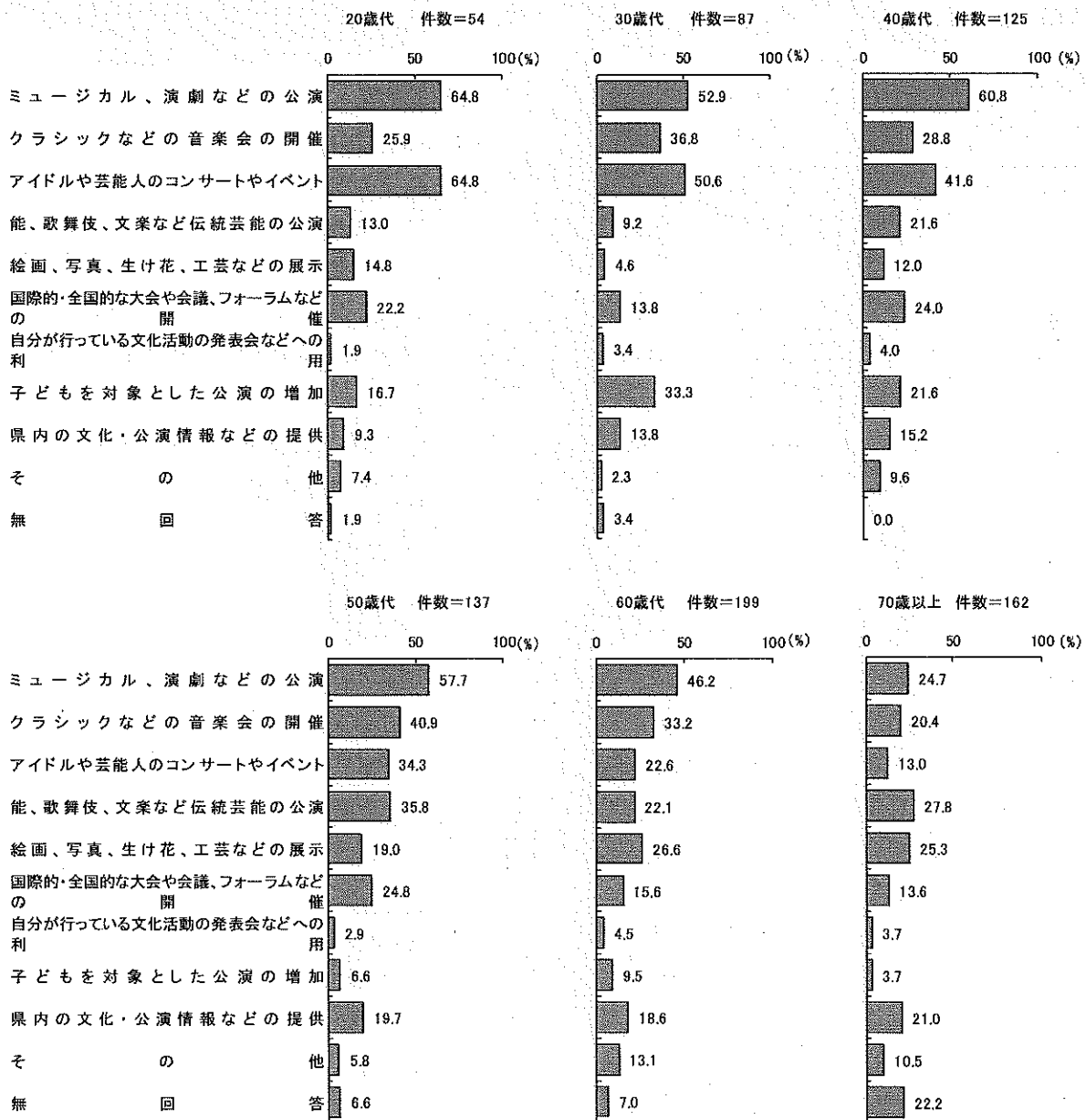
【図3-4-ii 性別「グランシップ」への期待】



<年代別>

第1位は、70歳以上を除いた全ての年代で「ミュージカル、演劇などの公演をしてほしい」となっている（20歳代では「ミュージカル、演劇などの公演をしてほしい」「アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催してほしい」が同率）。第2位は30歳代と40歳代で「アイドルや芸能人のコンサートやイベントを開催してほしい」、20歳代、50歳代、60歳代で「クラシックなどの音楽会を開催してほしい」となっている。70歳以上は「能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演を開催してほしい」が第1位、「絵画、写真、生け花、工芸などの展示をしてほしい」が第2位となっている。30歳代、40歳代では「子どもを対象とした公演の増加」が比較的高くなっている。

【図3-4-iii 年代別「グランシップ」への期待】

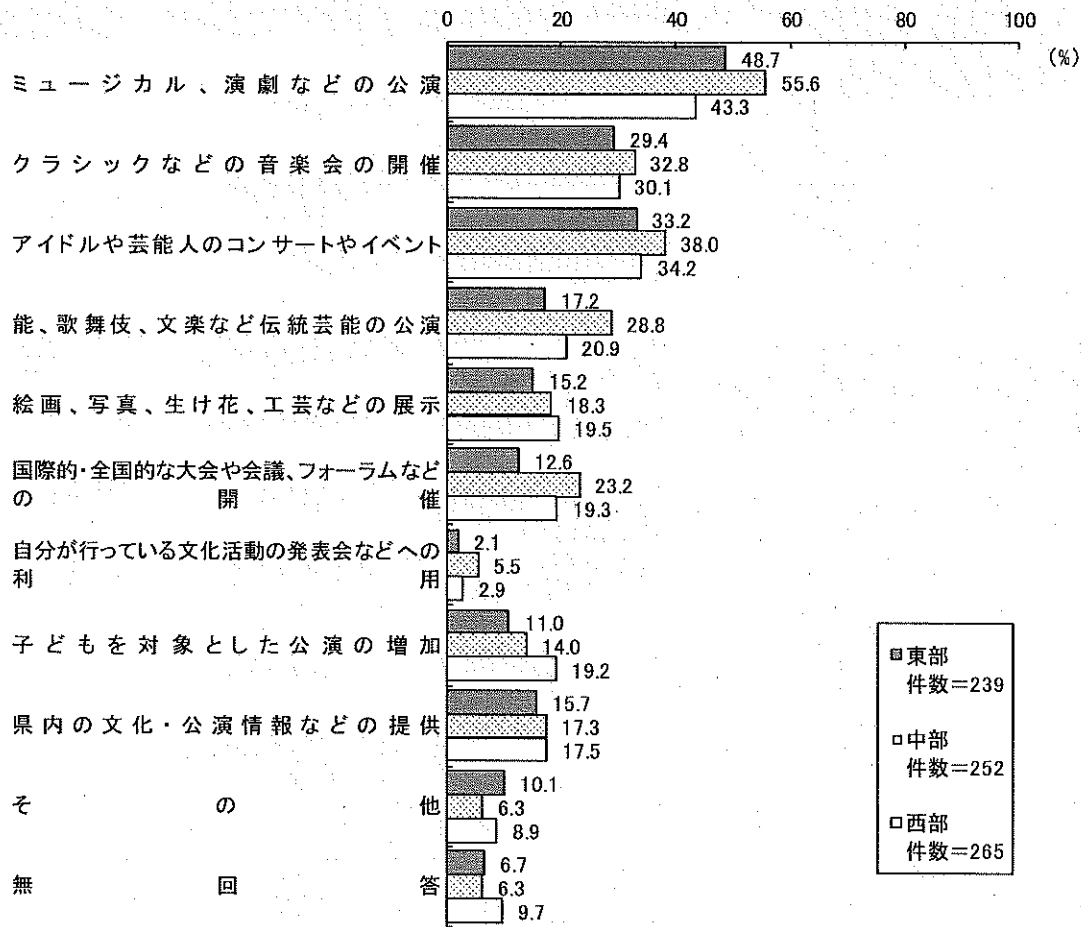


<地区別>

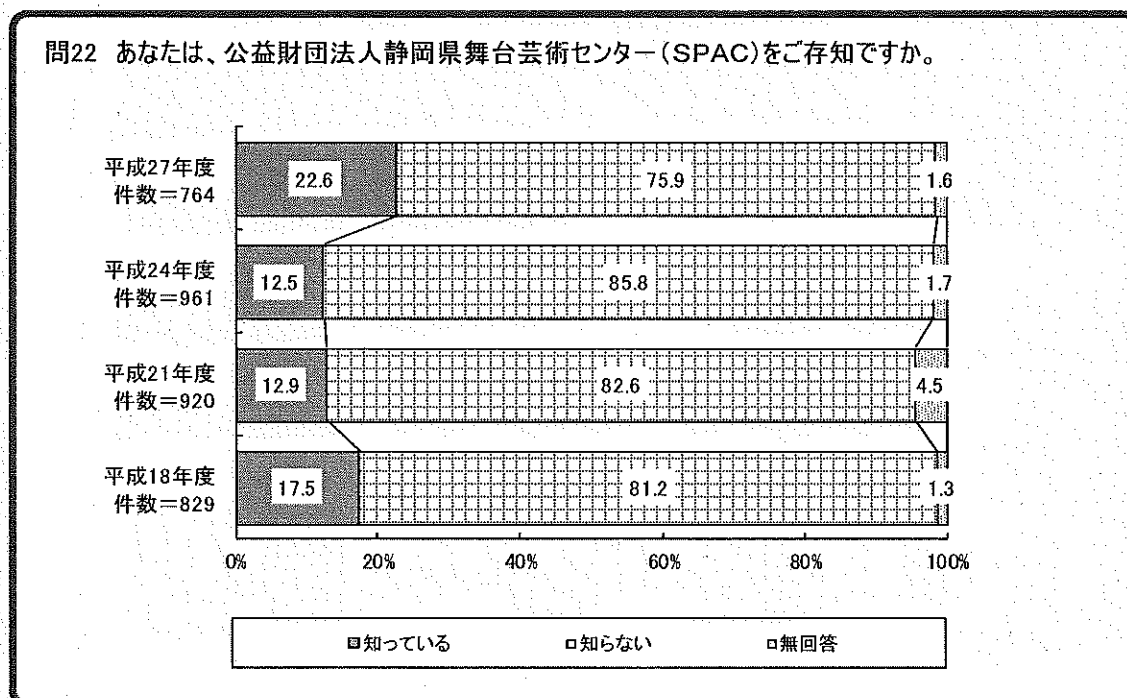
「ミュージカル、演劇などの公演をして欲しい」では、中部地区が55.6%と最も高く、東部地区は48.7%、西部地区は43.3%となっている。

また、「能、歌舞伎、文楽など伝統芸能の公演を開催してほしい」「国際的・全国的な大会や会議、フォーラムなどを開催してほしい」の項目でも、中部地区は28.8%、23.2%と、他の2地区に比べて高くなっている。

【図3-4-iv 地区別「グランシップ」への期待】



3-5 「公益財団法人静岡県舞台芸術センター（以下、SPAC）」の認知度



<全体>

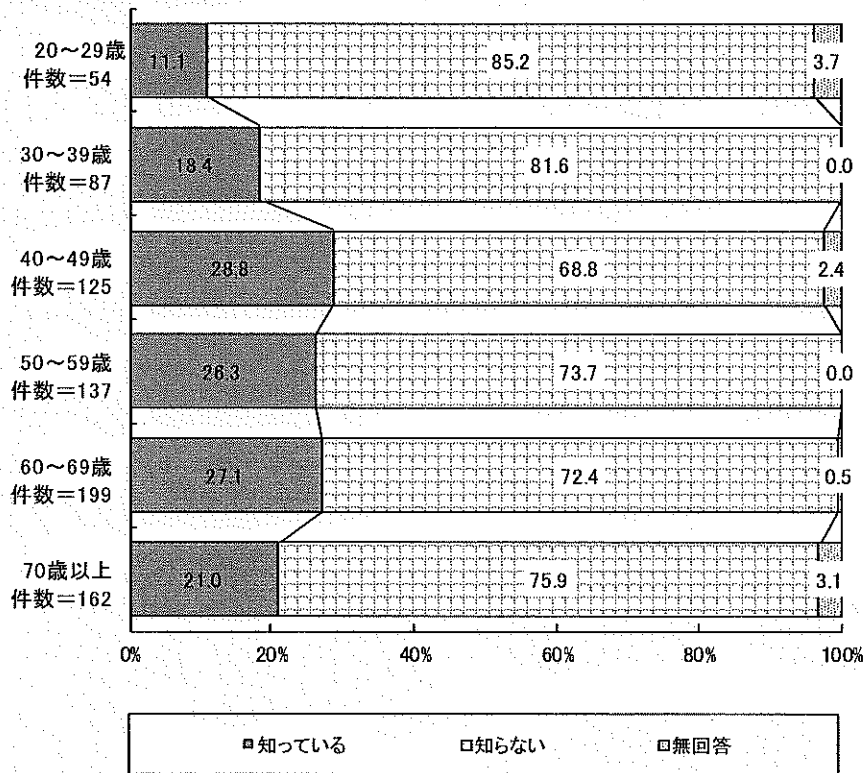
SPACを「知っている」は22.6%、「知らない」は75.9%となった。

過去の調査と比較すると、「知っている」の割合は平成24年度と比べて+10.1ポイント大きく増加している。

<年代別>

「知っている」が最も高いのは40歳代で28.8%、次いで60歳代が27.1%、50歳代が26.3%の順となり、20歳代、30歳代では2割を下回る低い割合となっている。

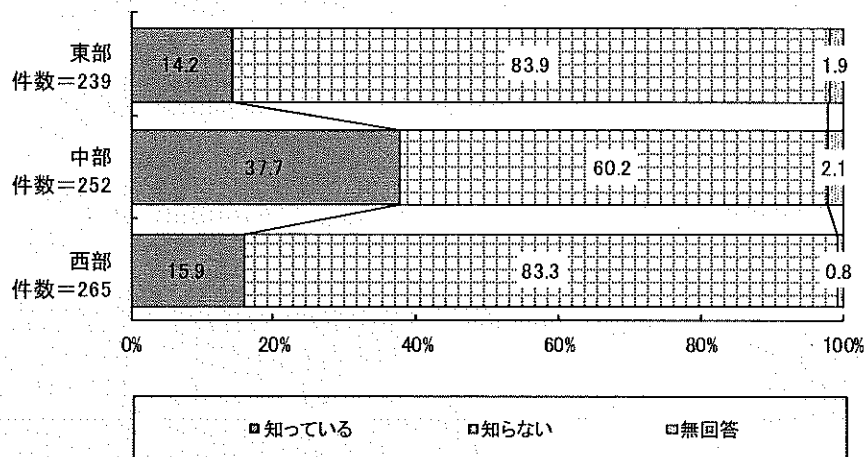
【図3-5-i 年代別「SPAC」の認知度】



<地区別>

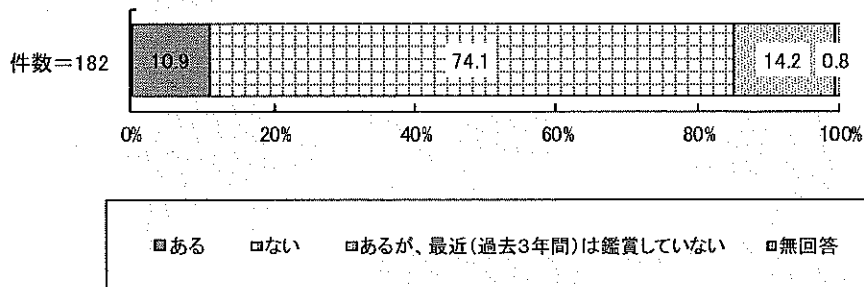
「知っている」割合が高い順に、中部地区37.7%、西部地区15.9%、東部地区14.2%となり、中部地区が突出している。

【図3-5-ii 地区別「SPAC」の認知度】



3-6 「SPAC」の鑑賞経験

問23 あなたは、公益財団法人静岡県舞台芸術センター（SPAC）の演劇を鑑賞したことがありますか。



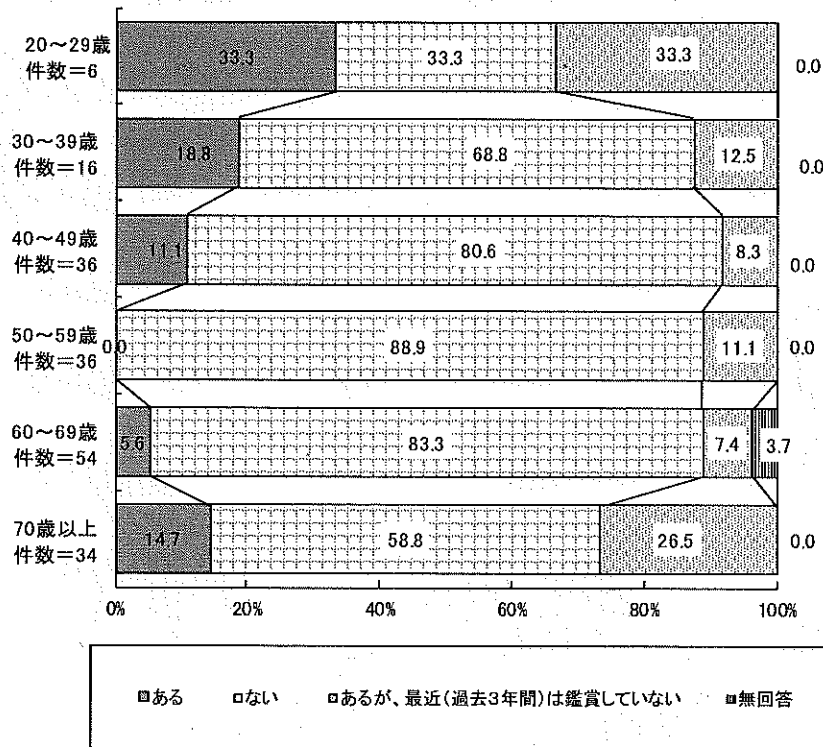
<全体>

SPACの演劇鑑賞経験については、「ある」は10.9%、「あるが最近（過去3年間）は鑑賞していない」は14.2%、「ない」は74.1%となった。

<年代別>

「ない」が最も高いのは50歳代で88.9%、次いで60歳代が83.3%、40歳代が80.6%の順となっている。「ある」が最も高いのは20歳代で33.3%、30歳代で18.8%、70歳以上で14.7%の順となっている。「あるが最近（過去3年間）は鑑賞していない」は20歳代で33.3%、70歳以上で26.5%、30歳代で12.5%の順となっている。

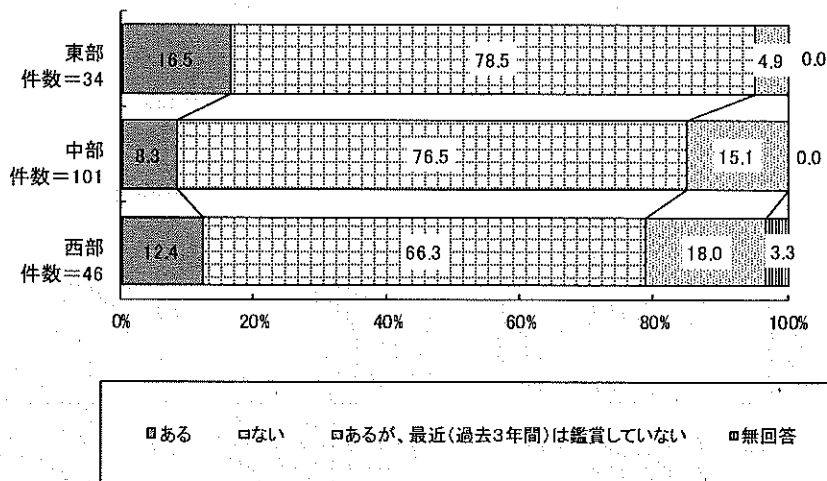
【図3-6-i 年代別「SPAC」の鑑賞経験】



<地区別>

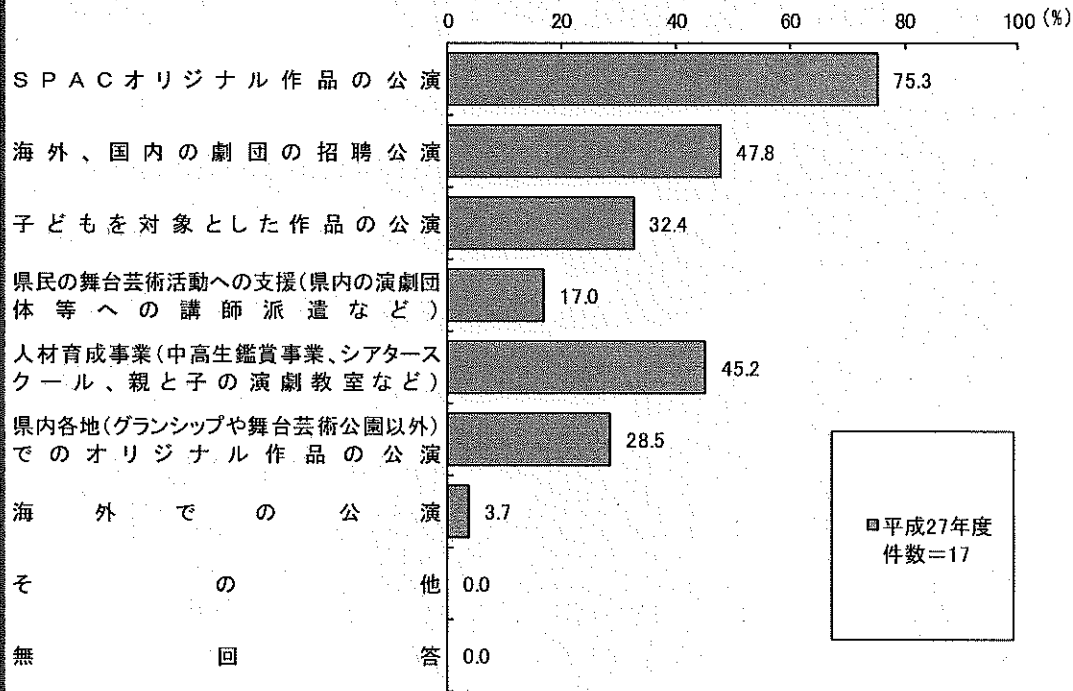
「ある」割合が高い順に、東部地区16.5%、西部地区12.4%、中部地区8.3%となっている。「あるが最近(過去3年間)は鑑賞していない」は、西部地区18.0%、中部地区15.1%、東部地区4.9%となっており、西部地区と中部地区で比較的高くなっている。

【図3-6-ii 地区別「SPAC」の認知度】



3-7 「SPAC」への期待

問24 問23で「1.ある」と回答された方にお聞きします。あなたは、SPACにどのようなこと(どういふことを行なうべきか、どんな場になってほしいか)を期待しますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



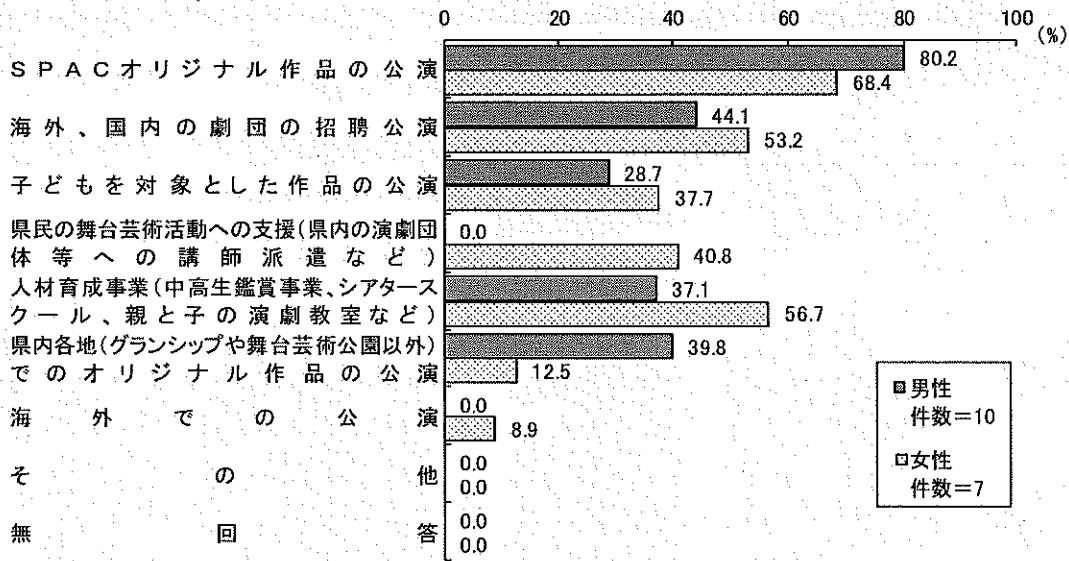
<全体>

SPACの演劇を鑑賞したことがあると回答した人(17人)のSPACへの期待内容の第1位は、「SPACオリジナル作品の公演」で75.3%、次いで「海外、国内の劇団の招聘公演」47.8%、「人材育成事業(中高生鑑賞事業、シアタースクール、親と子の演劇教室など)」45.2%となっている。

<性別>

男女ともに第1位は「SPACオリジナル作品の公演」、第2位は男性で「海外、国内の劇団の招聘公演」、女性で「人材育成事業(中高生鑑賞事業、シアタースクール、親と子の演劇教室など)」となった。「SPACオリジナル作品の公演」は男性が80.2%と女性の68.4%を上回り、「県内各地(グランシップや舞台芸術公園以外)でのオリジナル作品の公演」も、男性が39.8%と女性の12.5%を上回っている。一方、「子どもを対象とした作品の公演」(男性28.7%、女性37.7%)、「人材育成事業(中高生鑑賞事業、シアタースクール、親と子の演劇教室など)」(男性37.1%、女性56.7%)「県民の舞台芸術活動への支援(県内の演劇団体等への講師派遣など)」(男性0.0%、女性40.8%)は、いずれも女性が男性より高い割合となっている。

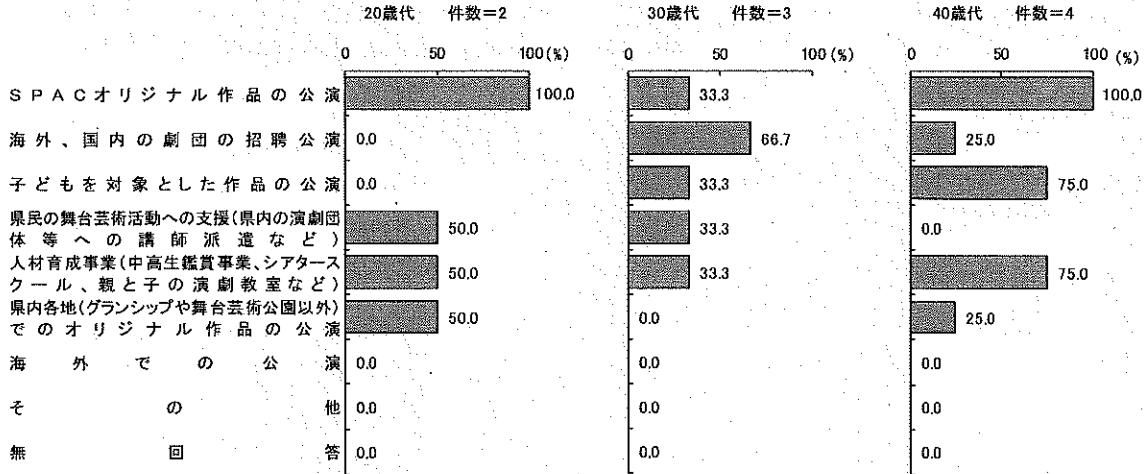
【図3-7-i 性別「SPAC」への期待】

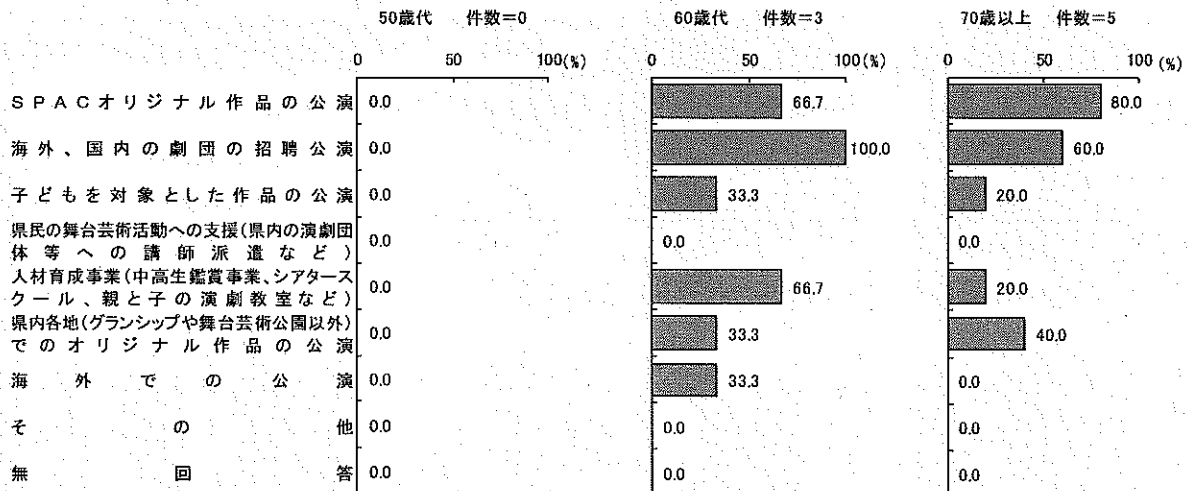


<年代別>

20歳代、40歳代、70歳以上では、「SPACオリジナル作品の公演」が、30歳代、60歳代では「海外、国内の劇団の招聘公演」が、それぞれ第1位となっている。

【図3-7-ii 年代別「SPAC」への期待】

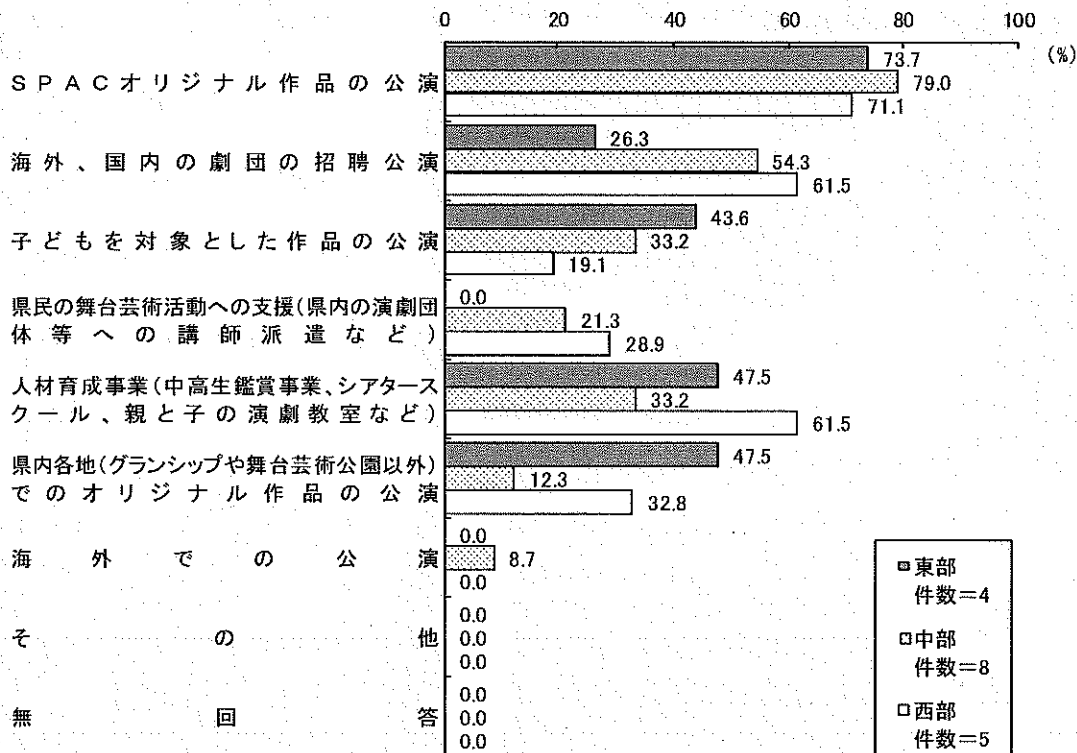




<地区別>

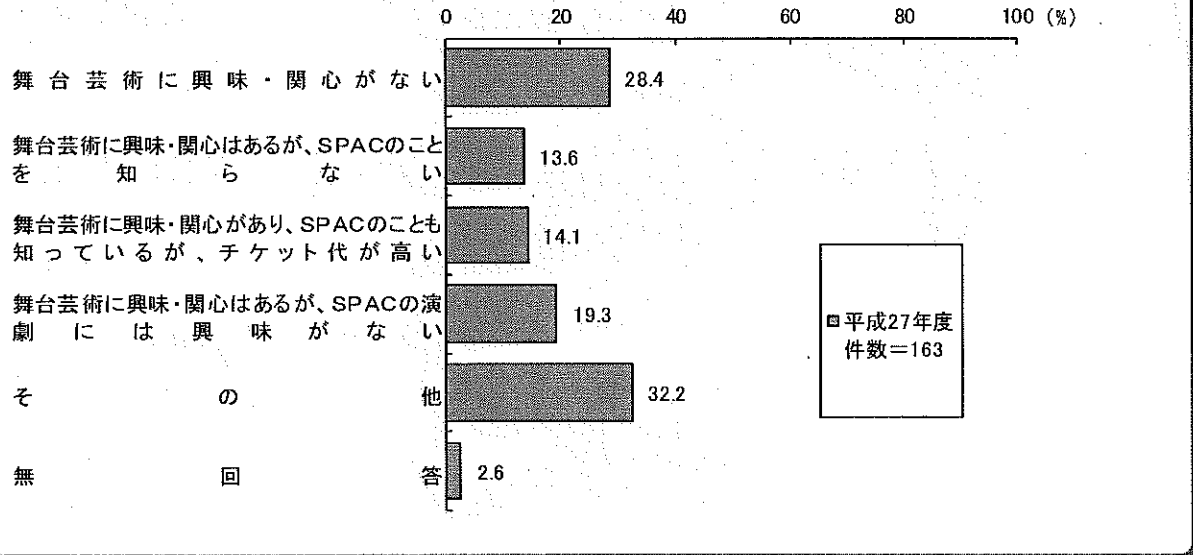
「SPACオリジナル作品の公演」は東部地区73.7%、中部地区79.0%、西部地区71.1%と3地区で大きな差はみられない。一方、「海外、国内の劇団の招聘公演」「県民の舞台芸術活動への支援(県内の演劇団体等への講師派遣など)」はいずれも中部地区、西部地区で高く、東部地区で低い。また「子どもを対象とした作品の公演」は西部地区で低く、「県内各地(グランシップや舞台芸術公園以外)でのオリジナル作品の公演」は中部地区で低くなっている。

【図3-7-iii 地区別「SPAC」への期待】



3-8 「SPAC」を鑑賞しない理由

問25 問23で「2.ない」と回答された方及び、「3. 最近(過去3年間)鑑賞していない」方にお聞きます。
鑑賞しない理由は何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



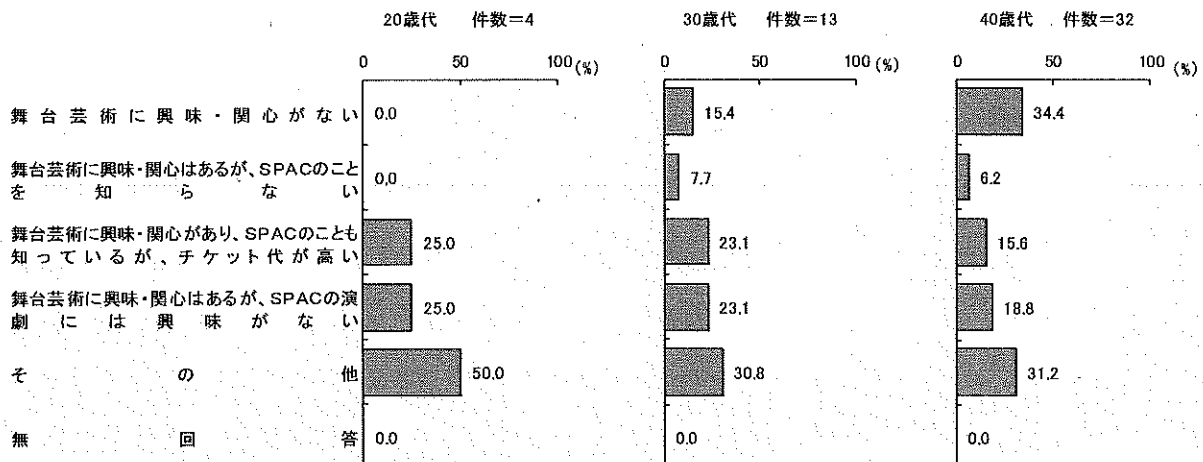
<全体>

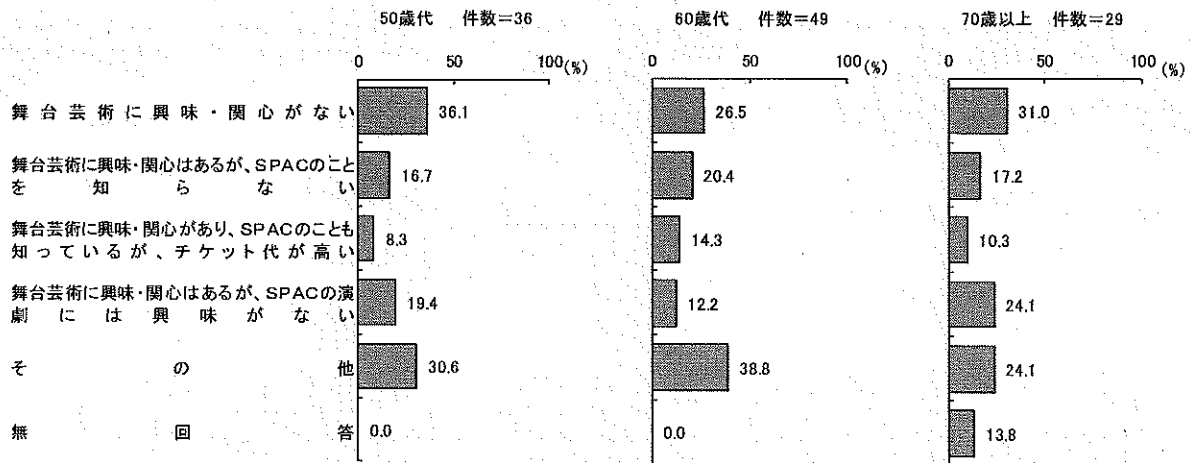
SPACの演劇を鑑賞したことがない、最近(過去3年間)鑑賞していないと回答した人(163人)の鑑賞しない理由の第1位は、「舞台芸術に興味・関心がない」で28.4%、第2位は「舞台芸術に興味・関心はあるが、SPACの演劇には興味がない」で19.3%となっている。なお「その他」は32.2%となっている。

<年代別>

「舞台芸術に興味・関心がない」「舞台芸術に興味・関心はあるが、SPACのことを知らない」は、概ね年代が低いほど割合が低くなっている。一方、「舞台芸術に興味・関心があり、SPACのことも知っているが、チケット代が高い」は年代が低いほど高い割合となっている。

【図3-8-1 年代別「SPAC」を鑑賞しない理由】

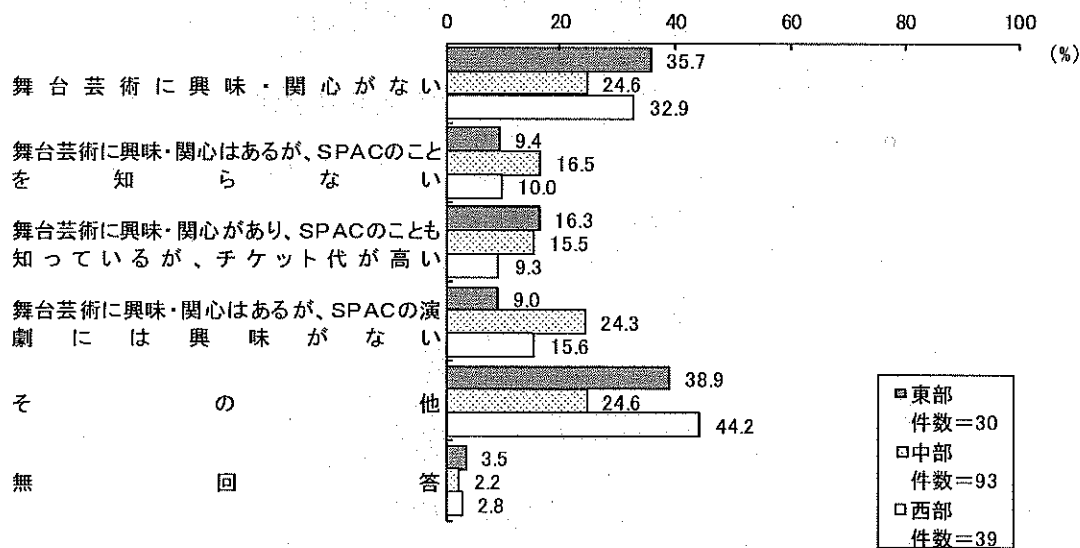




<地区別>

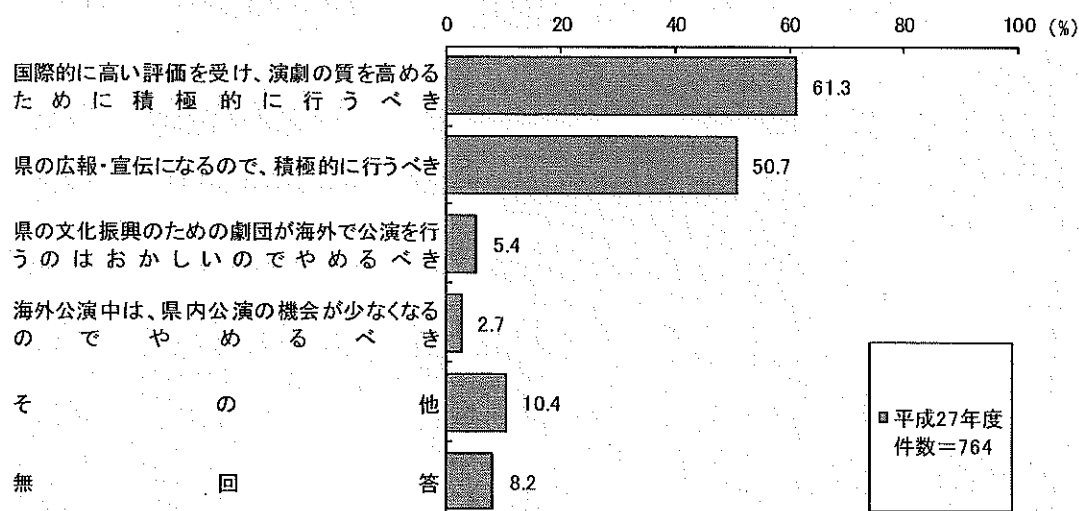
いずれの地区も「舞台芸術に興味・関心がない」が最も高く、東部地区で35.7%、中部地区で24.6%、西部地区で32.9%となっている。また中部地区では「舞台芸術に興味・関心はあるが、SPACの演劇には興味がない」が24.3%と比較的高い割合となっている。

【図3-8-ii 地区別「SPAC」を鑑賞しない理由】



3-9 「SPAC」海外公演への意見

問26 すべての方にお聞きます。SPACは設立以来、海外公演も行っており、平成26年度には世界最高峰の演劇祭であるフランスの「アビニオン演劇祭」に正式招聘されるなど、国際的に高い評価を受けていますが、SPACが海外公演を行うことをどのように思いますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



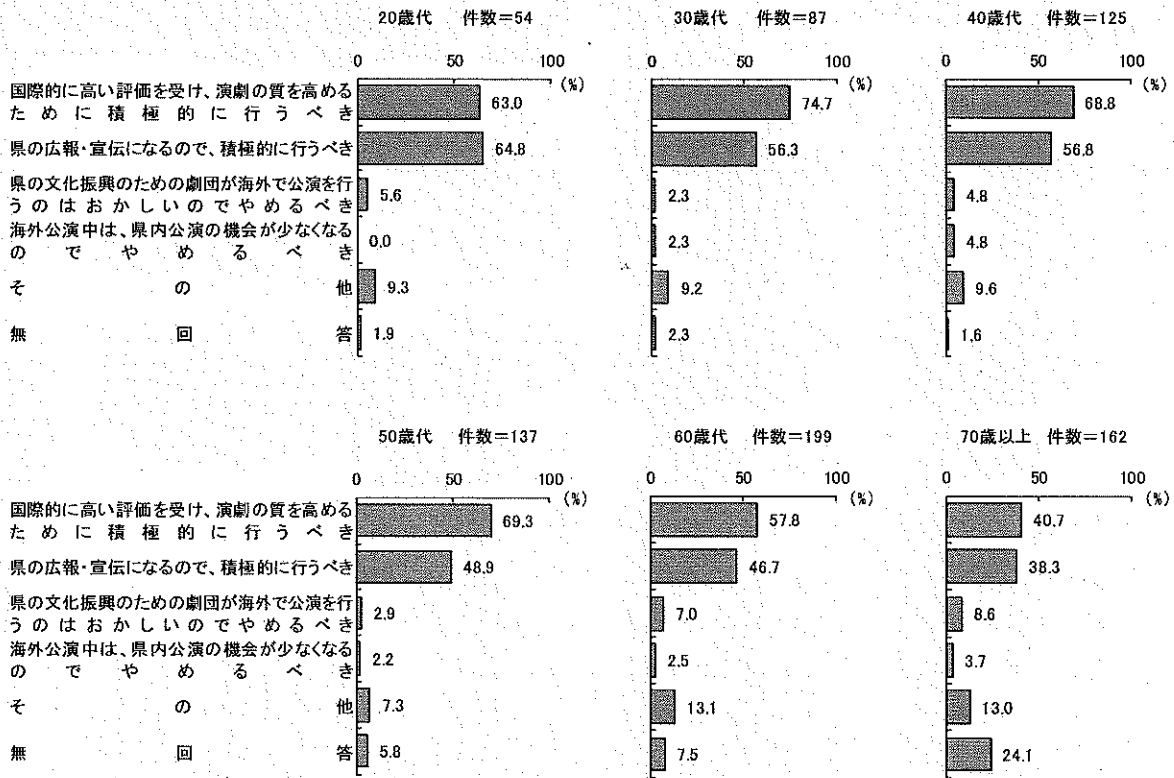
<全体>

SPACが海外公演を行うことをどのように思うかについては、「国際的に高い評価を受け、演劇の質を高めるために積極的に行うべき」が61.3%で最も高く、次いで「県の広報・宣伝になるので、積極的に行うべき」50.7%となっており、他の項目を大きく引き離している。

<年代別>

「国際的に高い評価を受け、演劇の質を高めるために積極的に行うべき」、「県の広報・宣伝になるので、積極的に行うべき」のいずれも、概ね年代が低いほど高い傾向にある。

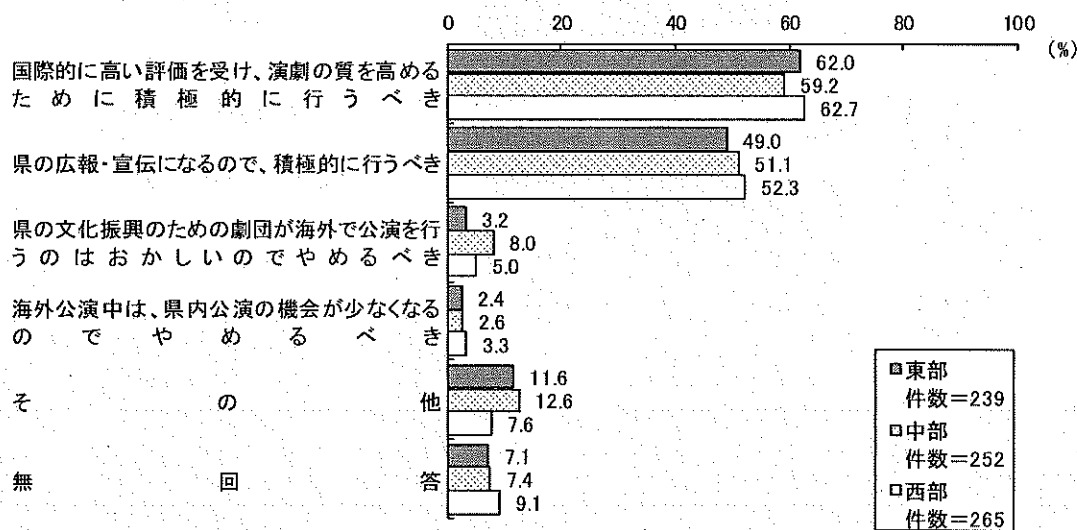
【図3-9-i 年代別「SPAC」海外公演への意見】



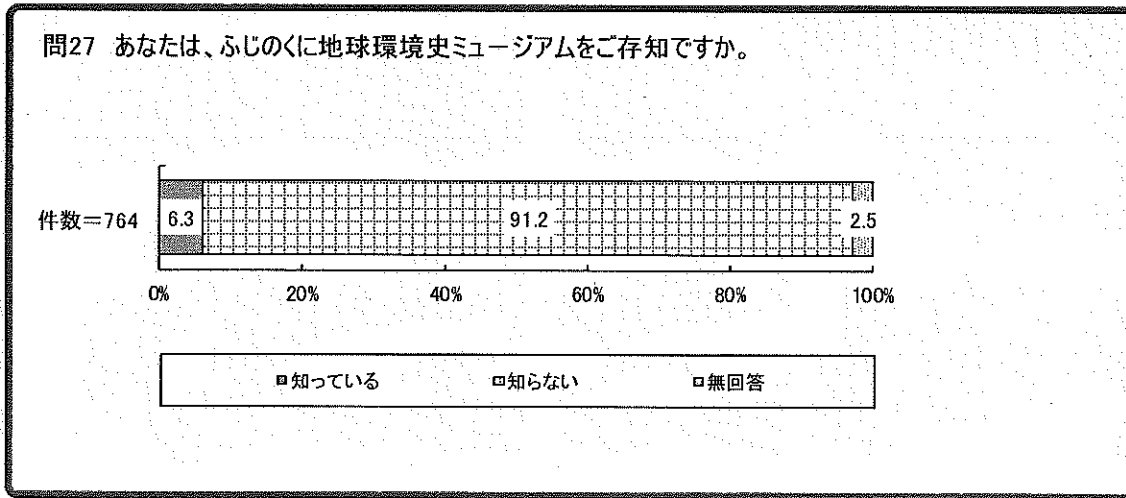
<地区別>

全ての地区で第1位は「国際的に高い評価を受け、演劇の質を高めるために積極的に行うべき」、第2位は「県の広報・宣伝になるので、積極的に行うべき」となり、地区間で大きな差はみられない。

【図3-9-ii 地区別「SPAC」海外公演への意見】



3-10 ふじのくに地球環境史ミュージアムの認知度



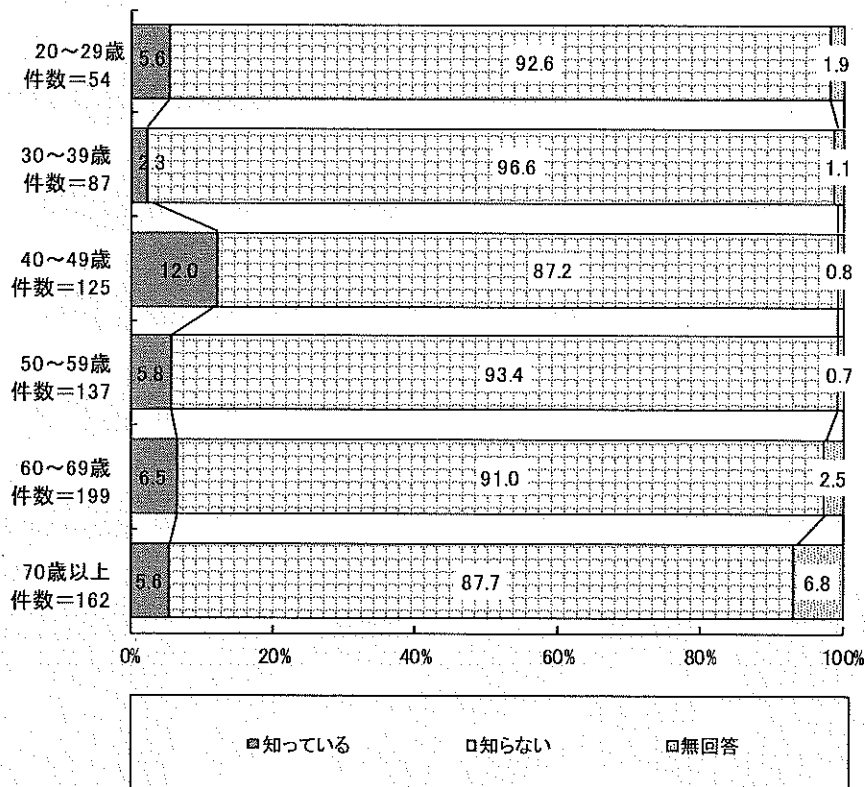
<全体>

ふじのくに地球環境史ミュージアムを「知っている」は6.3%、「知らない」は91.2%となった。

<年代別>

「知っている」は40歳代の12.0%が最も高く、それ以外の年代では1割を下回っている。

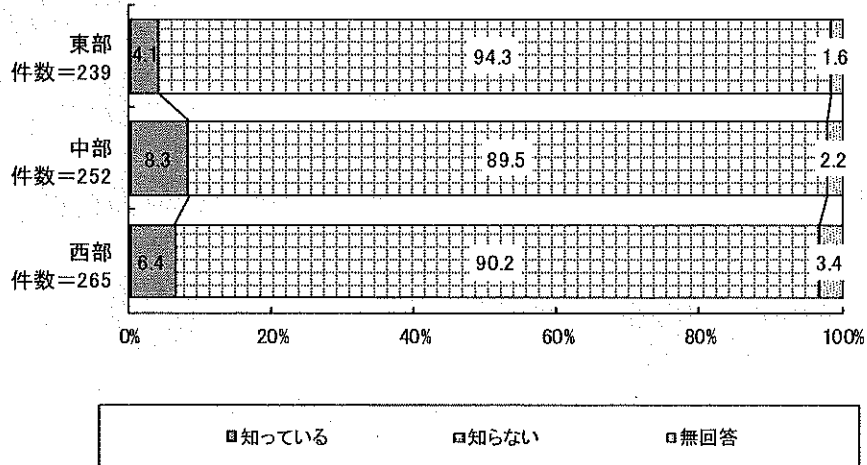
【図3-10-1 年代別 ふじのくに地球環境史ミュージアムの認知度】



<地区別>

いずれの地区も「知らない」が概ね9割を占め、「知っている」は中部地区8.3%、西部地区6.4%、東部地区4.1%となっている。

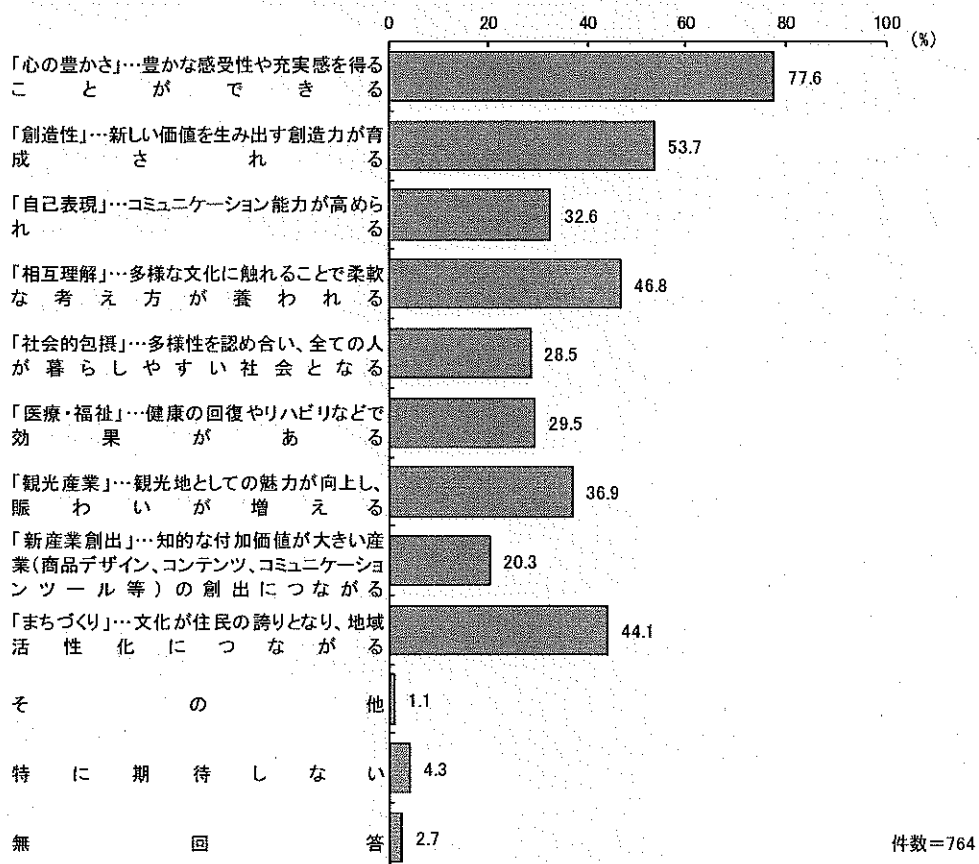
【図3-10-ii 地区別 ふじのくに地球環境史ミュージアムの認知度】



4 静岡県の文化振興について

4-1 文化に期待するもの

問28 次の中で、あなたが文化に期待するものは何ですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-1-i 文化に期待するもの】

<調査年度>

(%)

【項目】	H18	H21	H24	H27
心の豊かさ	82.4	79.9	76.2	77.6
創造性	43.9	48.9	48.4	53.7
自己表現	26.1	34.1	33.5	32.6
相互理解	46.8	47.4	44.8	46.8
社会的包摂	-	-	-	28.5
医療・福祉	24.0	29.8	25.9	29.5
観光産業	27.0	34.6	39.9	36.9
新産業創出	13.5	16.2	19.6	20.3
まちづくり	45.4	49.2	48.9	44.1
その他	1.7	1.2	0.8	1.1
特に期待しない	2.7	2.5	4.1	4.3
無回答	1.0	2.2	1.1	2.7

<全体>

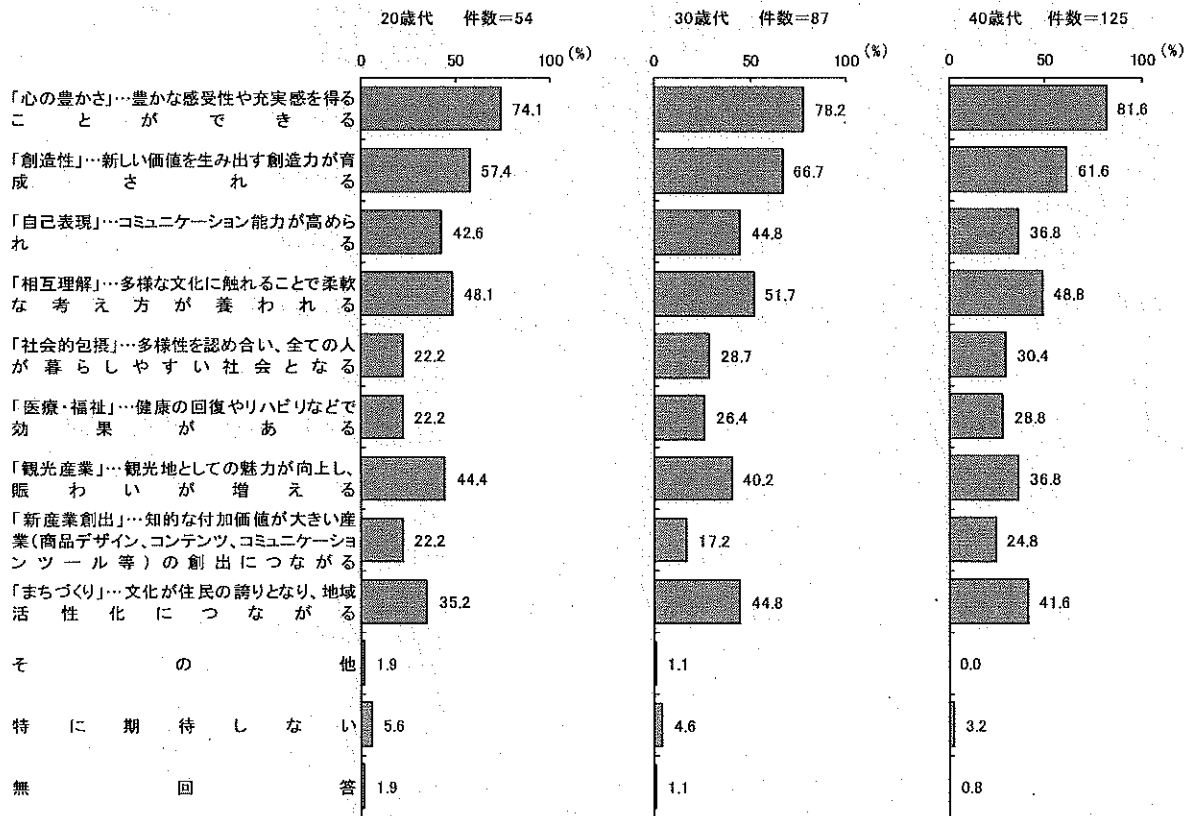
文化に期待するものとして最も多いのは、『「心の豊かさ」…豊かな感受性や充実感を得ることができる』で77.6%と7割を超えている。次いで『「創造性」…新しい価値を生み出す創造力が育成される』が53.7%、『「相互理解」…多様な文化に触れることで柔軟な考え方が養われる』(46.8%)、『「まちづくり」…文化が住民の誇りとなり、地域活性化につながる』(44.1%)の順となっている。

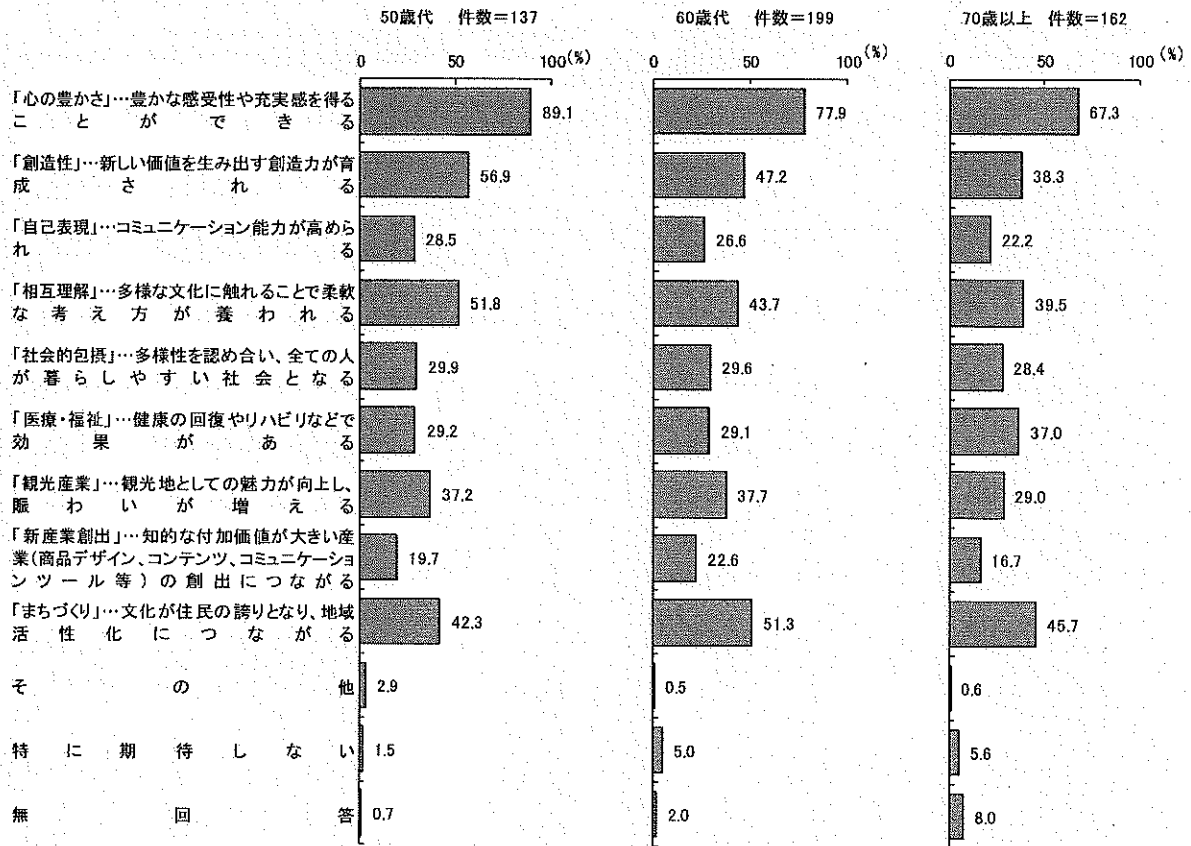
過去の調査と比較すると「創造性」、「新産業創出」が増加傾向で推移している。

<年代別>

いずれの年代も「心の豊かさ」の割合が最も高く、次いで20歳代から50歳代では「創造性」、「相互理解」の順となり3位までが同様となっている。また、60歳代では「まちづくり」が51.3%と他の年代より割合が高く、70歳以上では「医療・福祉」が37.0%と他の年代より割合が高い。

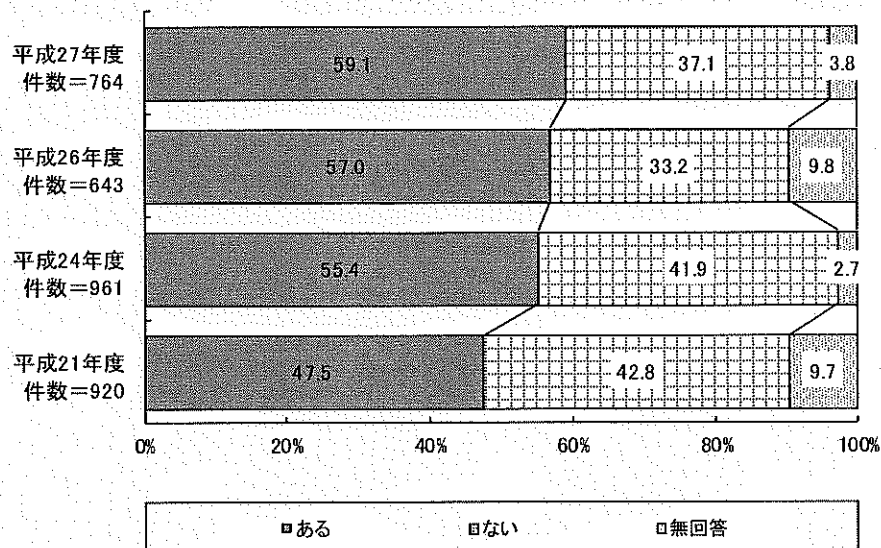
【図4-1-ii 年代別 文化に期待するもの】





4-2 地域の誇りだと感じられる文化資源の有無

問29 あなたのお住まいの地域には、あなた自身が誇りに思う、よその地域の方に紹介したくなる文化資源(独特の文化活動、歴史的な文化遺産や祭・芸能、その地域ならではの景観や食文化など)がありますか。



<全体>

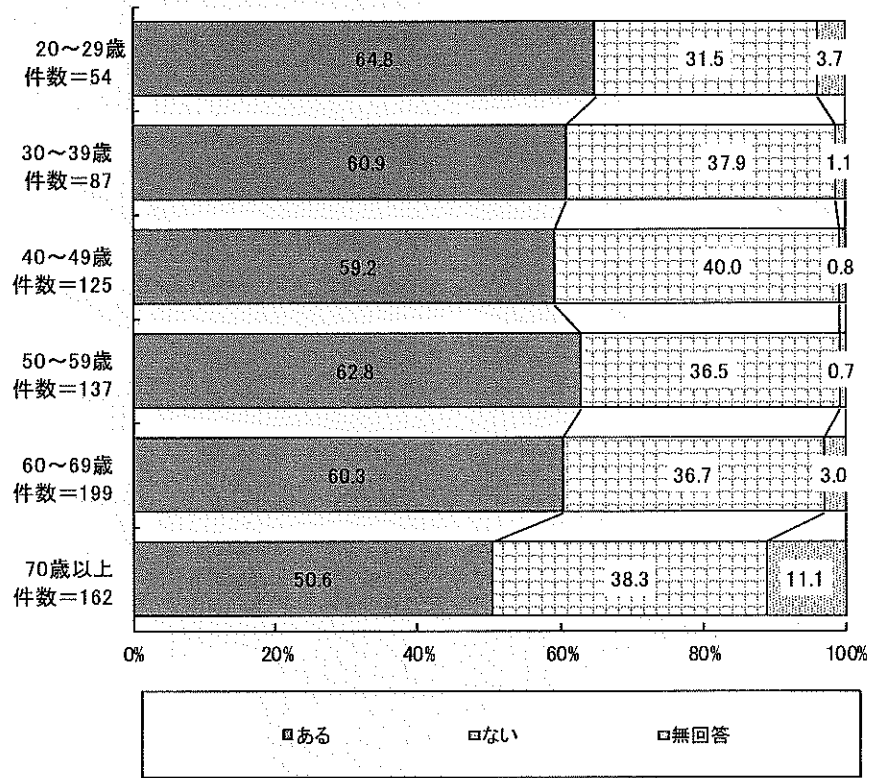
現在、住んでいる地域に文化資源(特色ある文化活動、歴史的な文化遺産や祭・芸能、その地域ならではの景観や食文化など)が「ある」と回答した割合は59.1%で、「ない」と回答した割合は37.1%であった。

過去の調査と比較すると、「ある」と回答した割合は前回の57.0%から2.1ポイント高くなっている。

<年代別>

いずれの年代も半数を超えている。特に20歳代は64.8%で他の年代を上回っている。

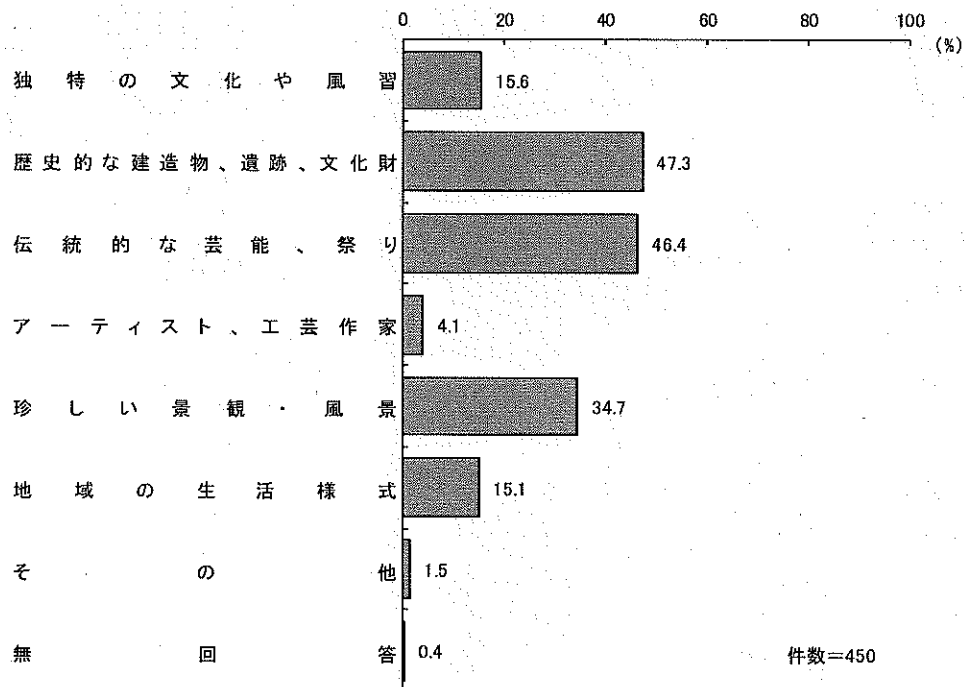
【図4-2-i 年代別 地域の誇りだと感じられる文化資源の有無】



4-3 地域の誇りだと感じられる文化資源

問30 問29で「1. ある」と回答された方にお聞きます。それはどのようなものですか。

次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-3-i 地域の誇りだと感じられる文化資源】

【項目】	＜調査年度＞			
	H21	H24	H26	H27
独特の文化や風習	27.7	23.9	17.6	15.6
歴史的な建造物、遺跡、文化財	65.2	64.9	80.0	47.3
伝統的な芸能、祭り	-	-	13.2	46.4
アーティスト、工芸作家	4.8	8.3	4.3	4.1
珍しい景観・風景	35.5	39.2	35.5	34.7
地域の生活様式	16.0	15.7	10.7	15.1
その他	4.1	5.9	2.4	1.5
無回答	0.5	1.1	0.0	0.4

＜全体＞

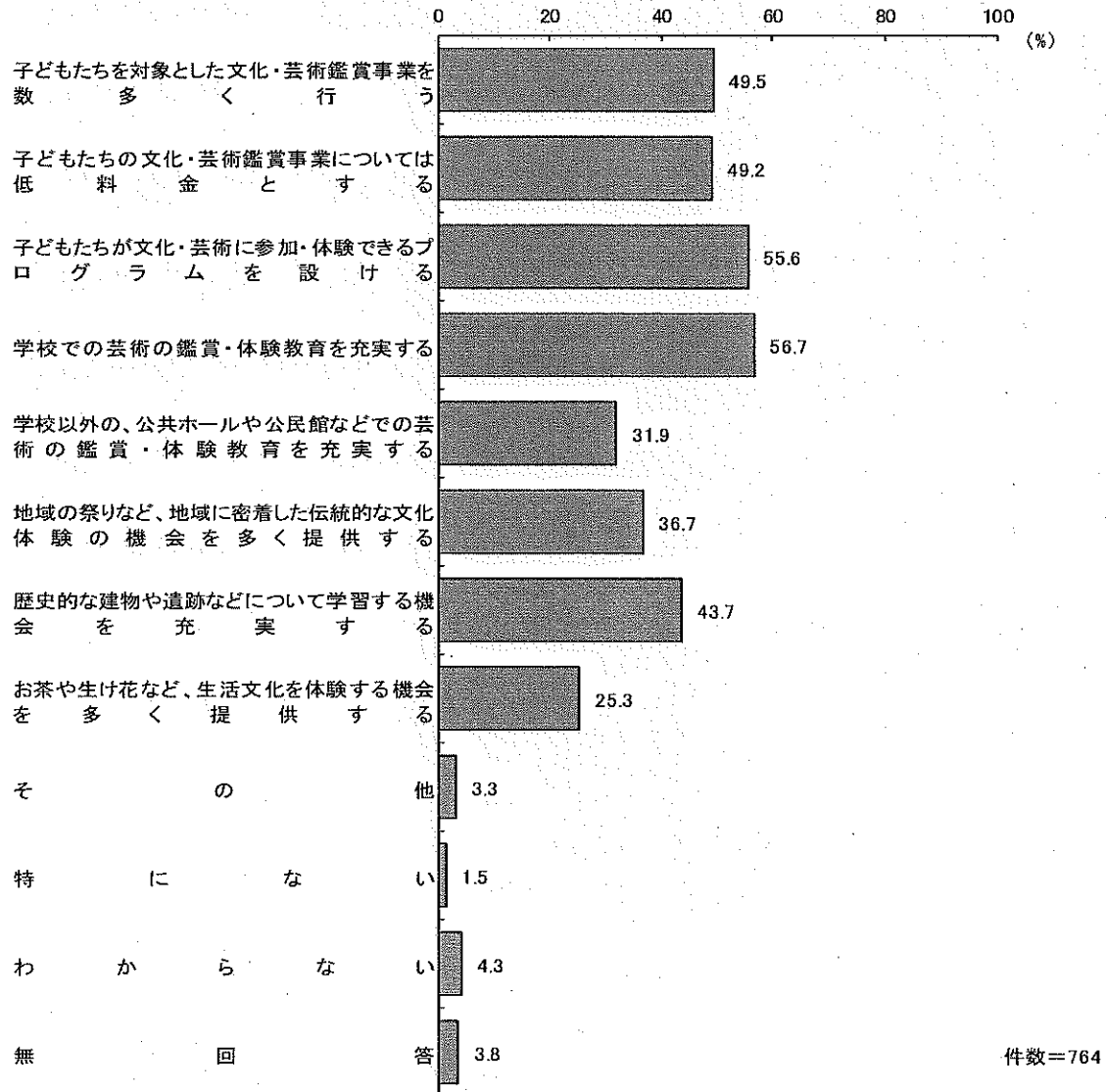
地域の誇れる文化が「ある」と回答した人（450人）の第1位は「歴史的な建造物、遺跡、文化財」の47.3%となっており、僅差で「伝統的な芸能、祭り」の46.4%が続いている。次いで「珍しい景観・風景」の34.7%となっている。

過去の調査と比較すると「独特の文化や風習」は、減少傾向で推移している。「歴史的な建造物、遺跡、文化財」は平成26年度の80.0%から32.7ポイントと大きく下回っている。

4-4 文化・芸術の子どもへの提供

問31 県では、子どもの頃に様々な文化・芸術に触れる機会の充実を図ることを、重点施策の1つに挙げています。あなたは、子どもたちが文化・芸術に親しむ機会を充実するためには、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中から当てはまるものすべてに○をつけてください。

【図4-4-i 文化・芸術の子どもへの提供】



【項目】	＜調査年度＞		
	H21	H24	H27
子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う	42.2	42.0	49.5
子どもたちの文化・芸術鑑賞事業については低料金とする	42.3	38.9	49.2
子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける	67.8	69.4	55.6
学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する	57.3	61.1	56.7
学校以外の、公共ホールや公民館などでの芸術の鑑賞・体験教育を充実する	—	—	31.9
地域の祭りなど、地域に密着した伝統的な文化体験の機会を多く提供する	47.0	43.1	36.7
歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実する	40.2	42.8	43.7
お茶や生け花など、生活文化を体験する機会を多く提供する	—	—	25.3
その他	1.8	2.8	3.3
特になし	1.4	1.9	1.5
わからない	3.4	3.2	4.3
無回答	2.9	0.8	3.8

＜全体＞

子供達が文化・芸術に親しむために、県や市町に期待する第1位は「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」が56.7%、次いで「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」が55.6%、「子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う」が49.5%となっている。

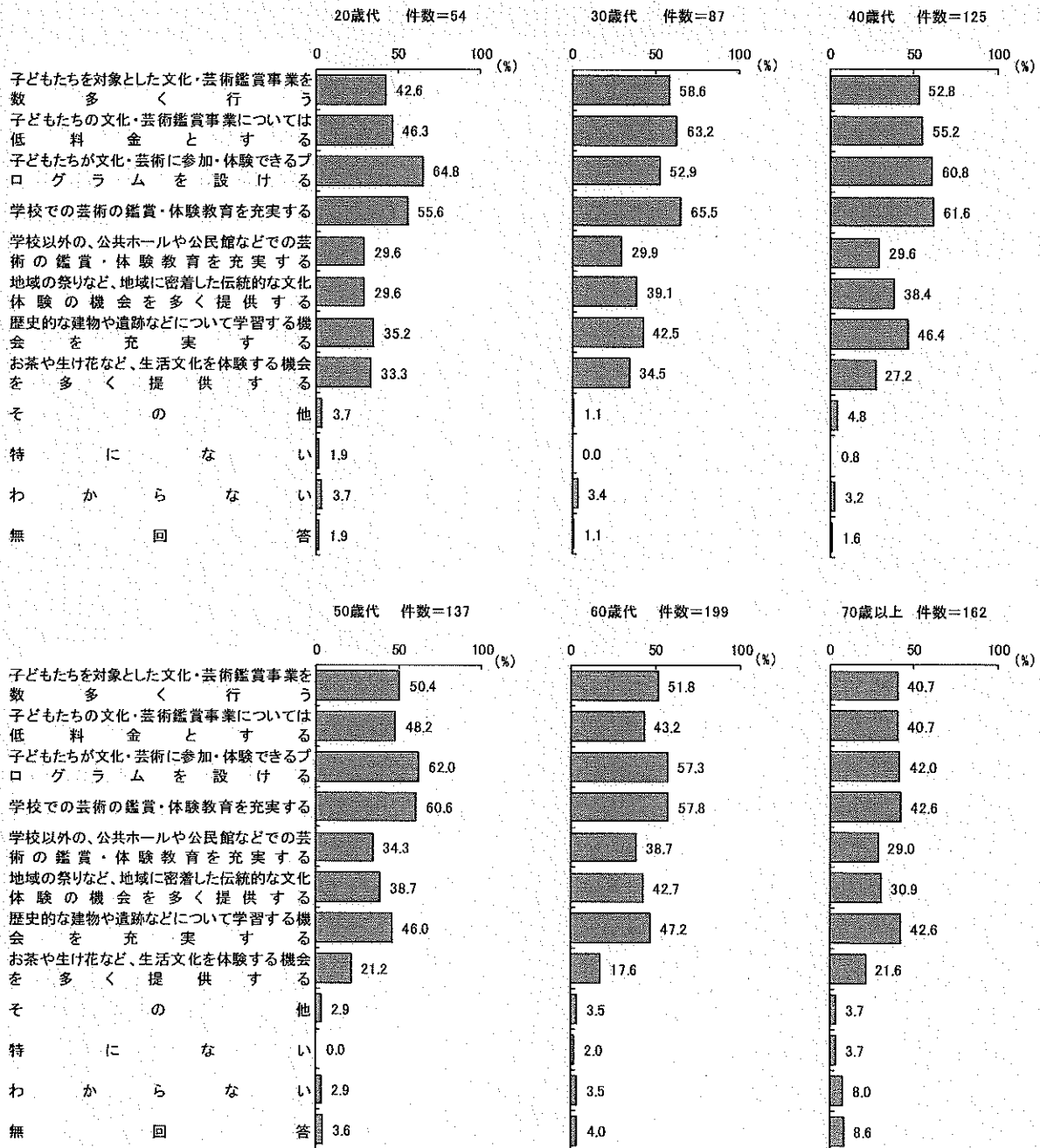
過去の調査と比較すると、「子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う」、「子どもたちの文化・芸術鑑賞事業については低料金とする」は平成26年度より大きく割合が増加している。

＜年代別＞

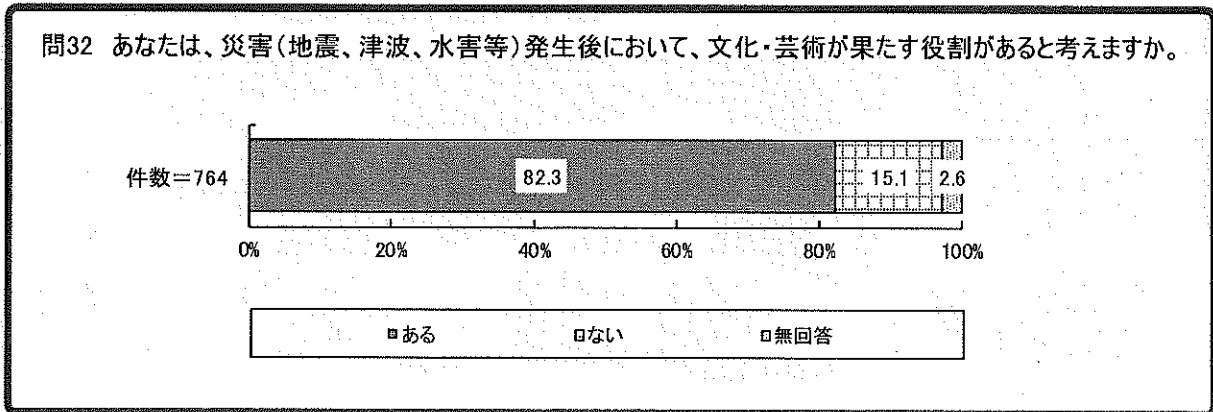
20歳代、50歳代では「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」の割合が最も高く、30歳代、40歳代、60歳代では「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」の割合が最も高く、70歳以上では「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」と「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会を充実する」が同率で最も高くなっている。

70歳以上を除いた全ての年代で、「子どもたちを対象とした文化・芸術鑑賞事業を数多く行う」、「子どもたちの文化・芸術鑑賞事業については低料金とする」、「子どもたちが文化・芸術に参加・体験できるプログラムを設ける」、「学校での芸術の鑑賞・体験教育を充実する」のいずれかで3位までを占めている。

【図4-4-ii 年代別 文化・芸術の子どもへの提供】



4-5 災害発生後の文化の役割の有無



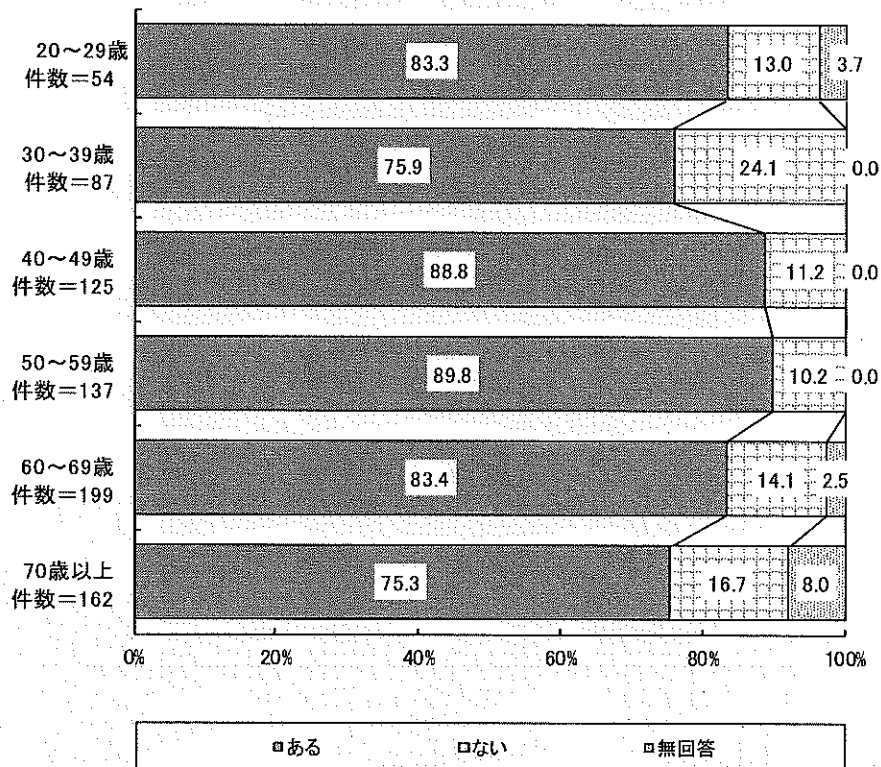
<全体>

災害(地震、津波、水害等)発生後において、文化・芸術が果たす役割が「ある」と回答した割合は82.3%で、「ない」と回答した割合は15.1%であった。

<年代別>

いずれの年代でも「ある」が大半を占めている。特に40歳代、50歳代はそれぞれ88.8%、89.8%で約9割となり、他の年代を上回っている。一方、30歳代は「ない」と回答した割合が24.1%となり、他の年代よりも比較的高くなっている。

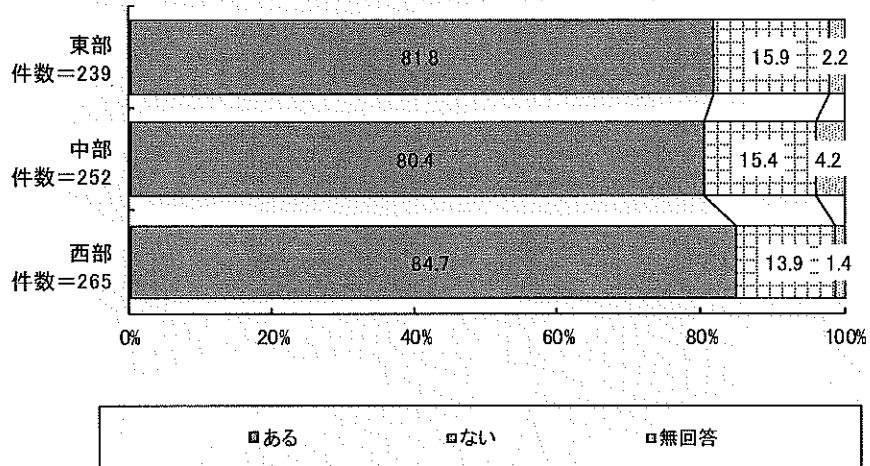
【図4-5-i 年代別 災害発生後の文化の役割の有無】



<地区別>

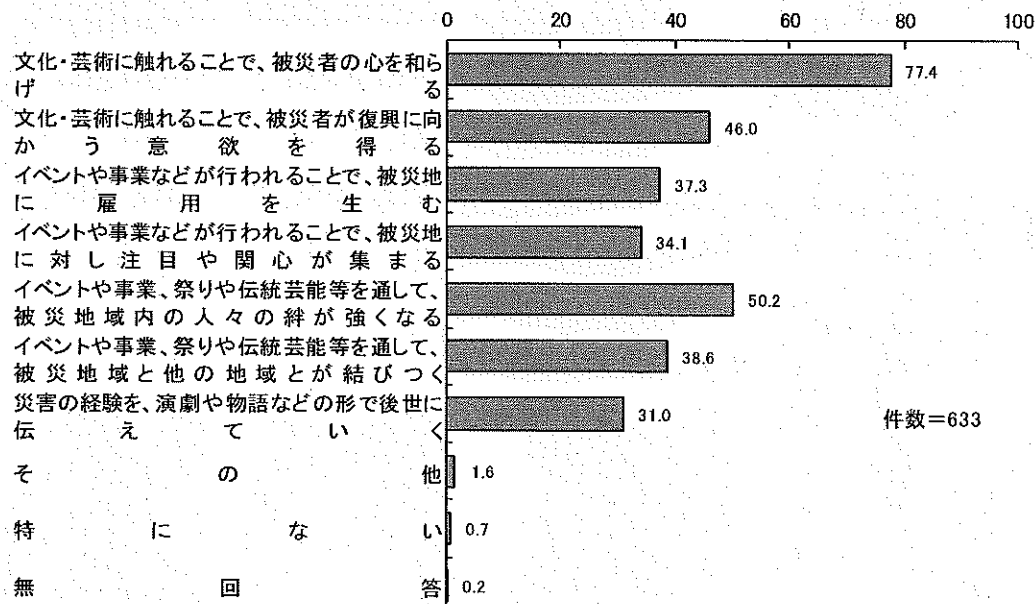
いずれの地区も「ある」が大半を占めている。特に西部地区は84.7%となり、他の2地区を上回っている。

【図4-5-ii 地区別 災害発生後の文化の役割の有無】



4-6 災害発生後の文化の役割

問33 問32で「1. ある」と回答された方にお聞きます。文化・芸術は、どのような役割を果たすと考えますか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



<全体>

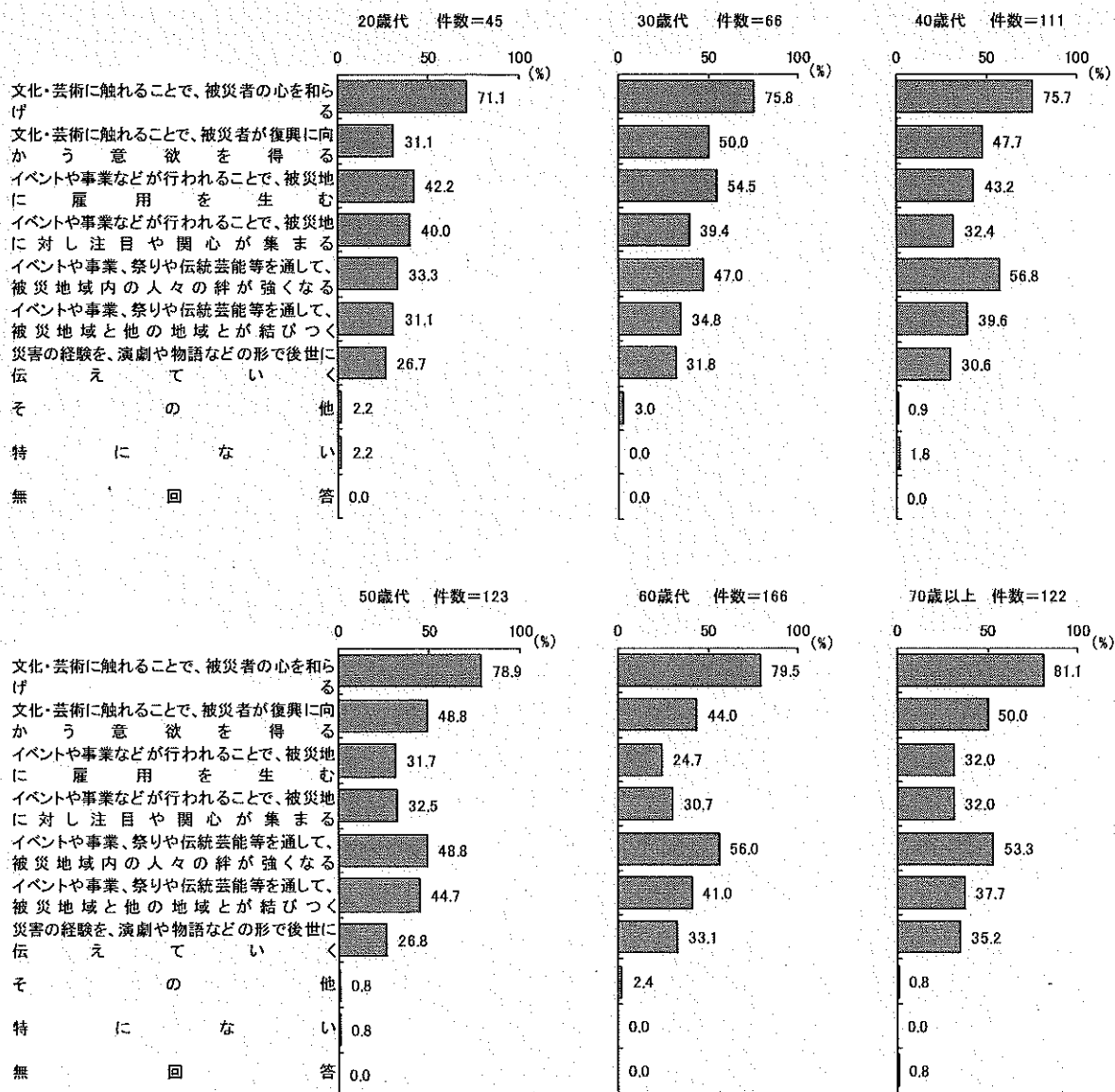
災害（地震、津波、水害等）発生後において、文化・芸術が果たす役割が「ある」と回答した人（633人）の第1位は、「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」の77.4%で他を圧倒している。次いで「イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地内の人々の絆が強くなる」の50.2%、「文化・芸術に触れることで、被災者が復興に向かう意欲を得る」の46.0%となっている。

<年代別>

いずれの年代も「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」が最も高く、20歳代、30歳代では「イベントや事業などが行われることで、被災地に雇用を生む」が続き、次いで20歳代では「イベントや事業などが行われることで、被災地に対し注目や関心が集まる」となり、30歳代では「文化・芸術に触れることで、被災者が復興に向かう意欲を得る」となっている。

一方、40歳代から70歳以上では「イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地内の人々の絆が強くなる」が続き、50歳代では同率で、また、40歳代、60歳代、70歳以上では「文化・芸術に触れることで、被災者が復興に向かう意欲を得る」が続いている。

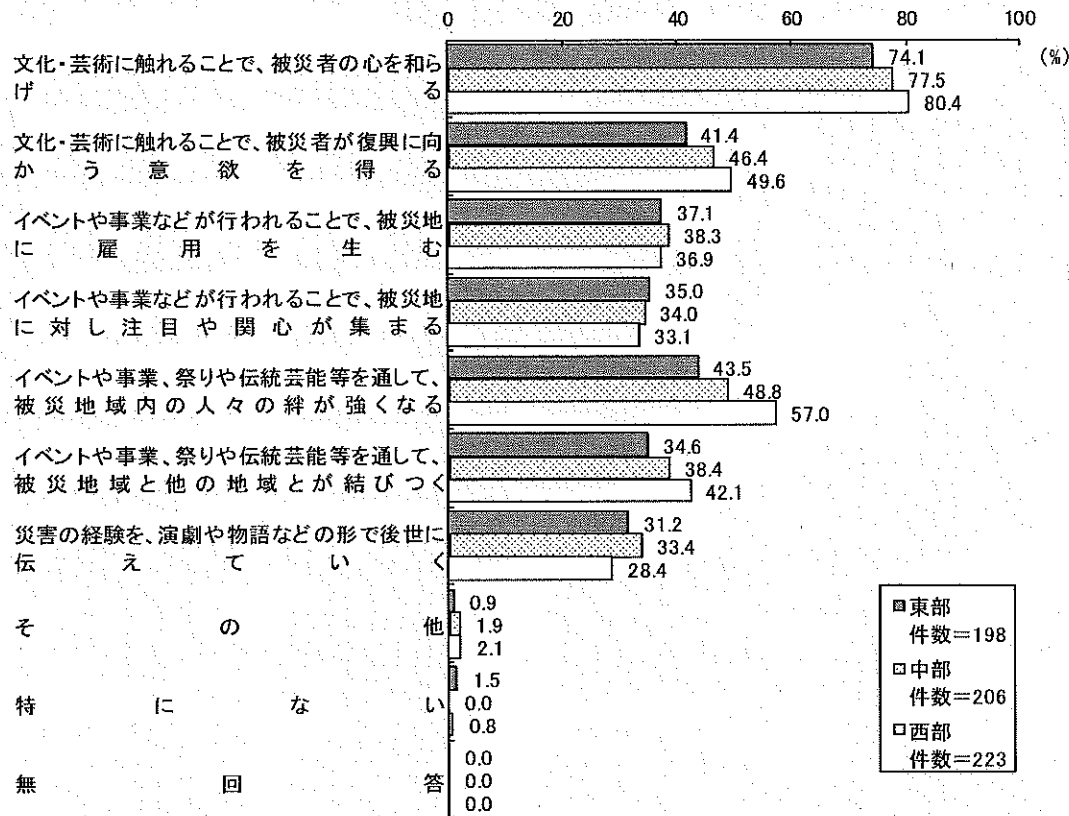
【図4-6-i 年代別 災害発生後の文化の役割】



<地区別>

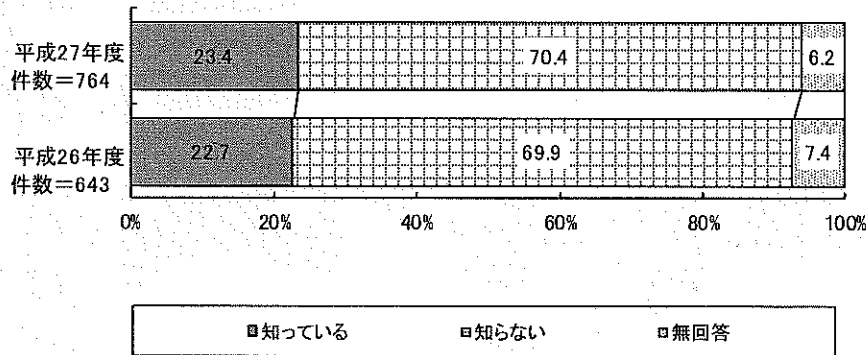
いずれの地区も「文化・芸術に触れることで、被災者の心を和らげる」、「イベントや事業、祭りや伝統芸能等を通して、被災地内の人々の絆が強くなる」、「文化・芸術に触れることで、被災者が復興に向かう意欲を得る」の順となった。また、上記3項目はいずれも西部地区の割合が最も高くなっている。

【図4-6-ii 地区別 災害発生後の文化の役割】



4-7 オリンピック・パラリンピック「文化プログラム」の認知度

問34 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピックは、スポーツのイメージが強い祭典ですが、同時に、文化の祭典として各地域で様々な文化イベントが行われていることを知っていますか。



<全体>

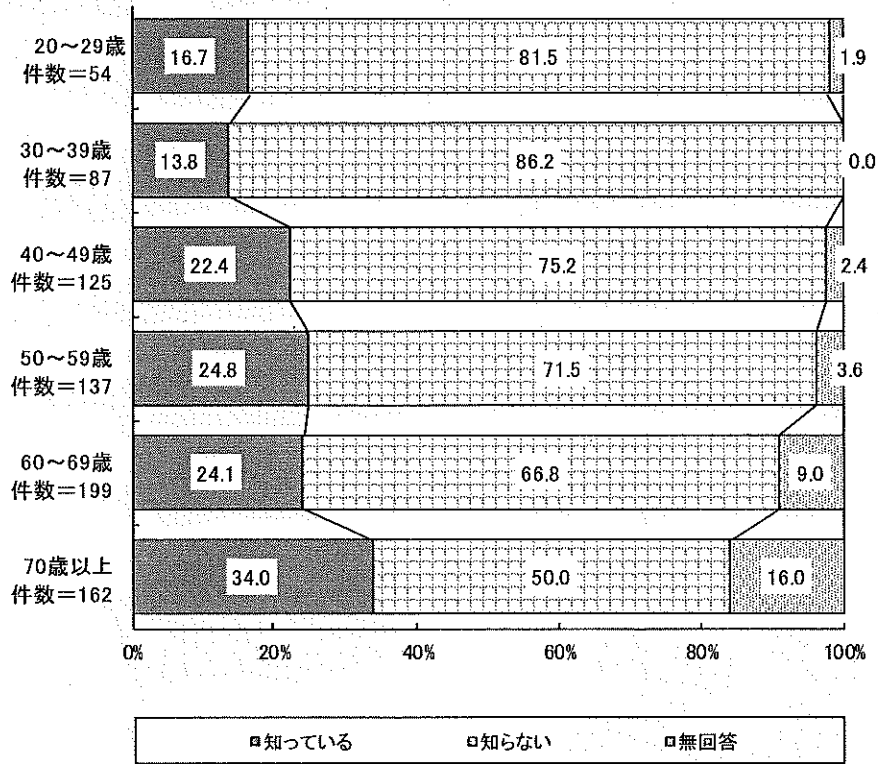
2020年東京オリンピック開催の際に、各地域で様々な文化イベントが行われることへの認知については、「知っている」が23.4%、「知らない」が70.4%で、認知度は3割を下回っている。

過去の調査との比較では、あまり大きな違いは見られない。

<年代別>

「知っている」は70歳以上で34.0%と最も高く、次いで50歳代で24.8%となった。30歳代以下の年代では2割を下回り、30歳代の13.8%が最も低くなっている。

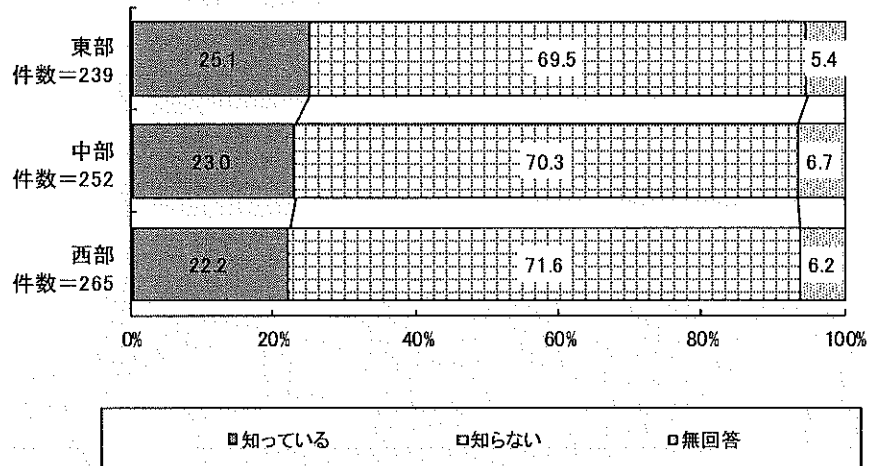
【図4-7-i 年代別 文化イベントの認知度】



<地区別>

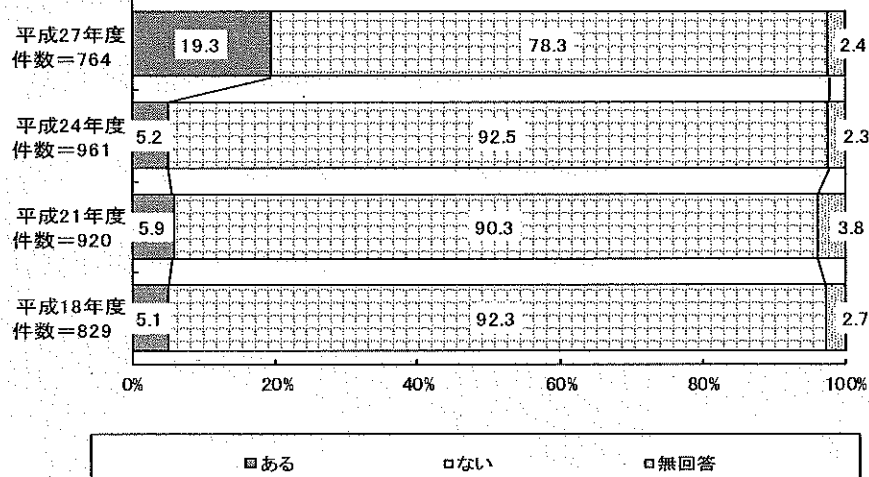
「知っている」は東部地区で25.1%、中部地区で23.0%、西部地区で22.2%となっており、地区による大きな差は見られない。

【図4-7-ii 地区別 文化イベントの認知度】



4-8 支援活動参加の有無

問35 あなたは、文化・芸術に対する支援活動（ボランティアや文化・芸術活動等への寄附など）に参加したことがありますか。



<全体>

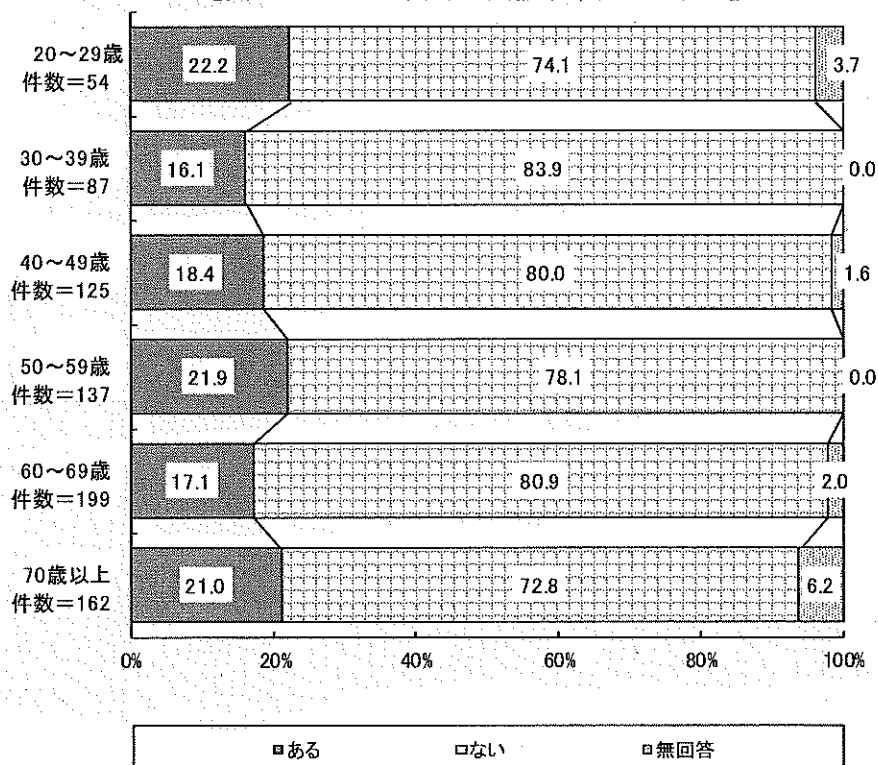
文化・芸術に対する支援活動（文化ボランティアや文化・芸術活動等への寄附など）に参加したことが「ある」は19.3%、「ない」は78.3%となった。

過去の調査との比較では、「ある」が大幅に増加し、平成24年度の約4倍となっている。

<年代別>

「ある」が最も高いのは20歳代で22.2%、次いで50歳代が21.9%、70歳以上が21.0%となっている。その他の年代は、いずれも10%台となっている。

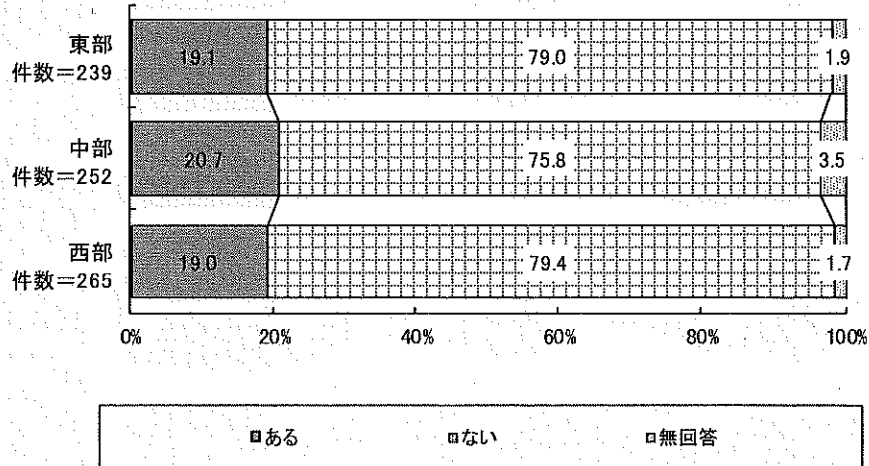
【図4-8-1 年代別 支援活動参加の有無】



<地区別>

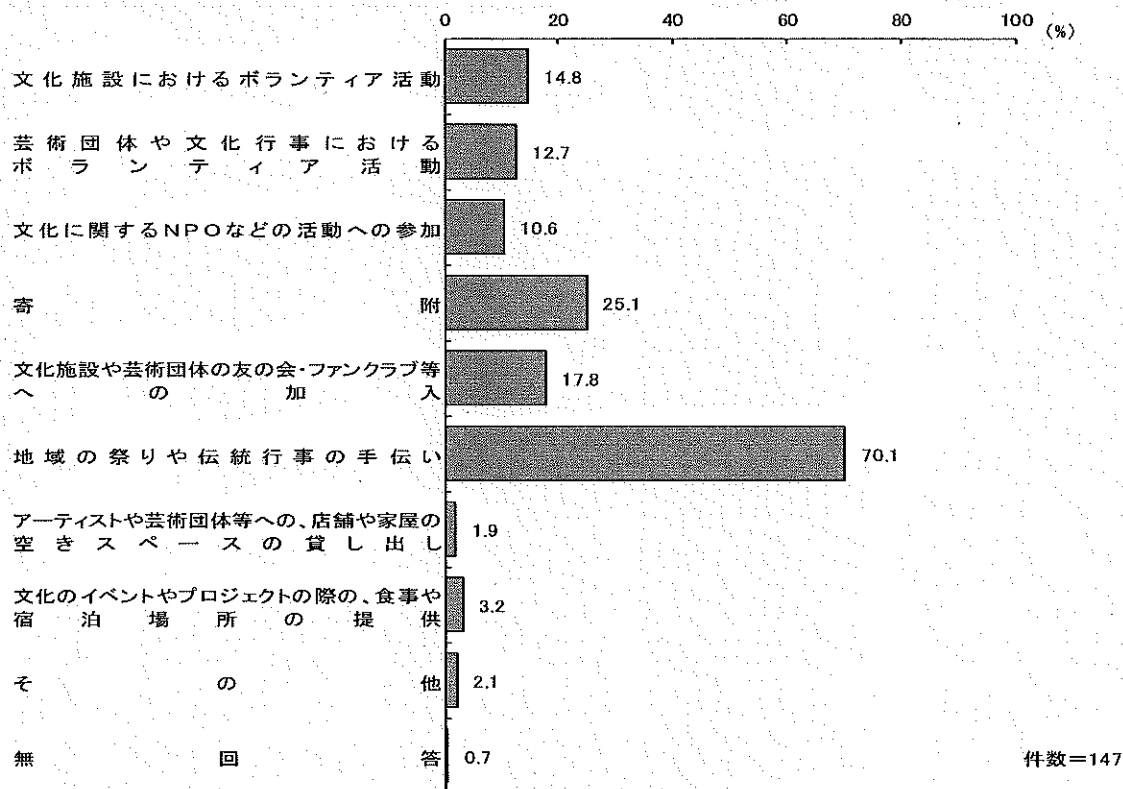
「ある」割合が最も高いのは中部地区の20.7%で、次いで東部地区の19.1%、西部地区の19.0%となっている。

【図4-8-ii 地区別 支援活動参加の有無】



4-9 支援活動の内容

問36 問35で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたが参加した文化に対する支援活動は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-9-i 支援活動の内容】

【項目】	＜調査年度＞			
	H18	H21	H24	H27
文化施設におけるボランティア活動	28.6	33.3	29.5	14.8
芸術団体や文化行事におけるボランティア活動	38.1	22.2	18.5	12.7
文化に関するNPOなどの活動への参加	14.3	13.0	17.1	10.6
寄附	28.6	31.5	31.3	25.1
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	0.0	35.2	35.4	17.8
地域の祭りや伝統行事の手伝い	-	-	-	70.1
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	-	-	-	1.9
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	-	-	-	3.2
その他	0.0	9.3	6.0	2.1
無回答	4.8	0.0	1.4	0.7

<全体>

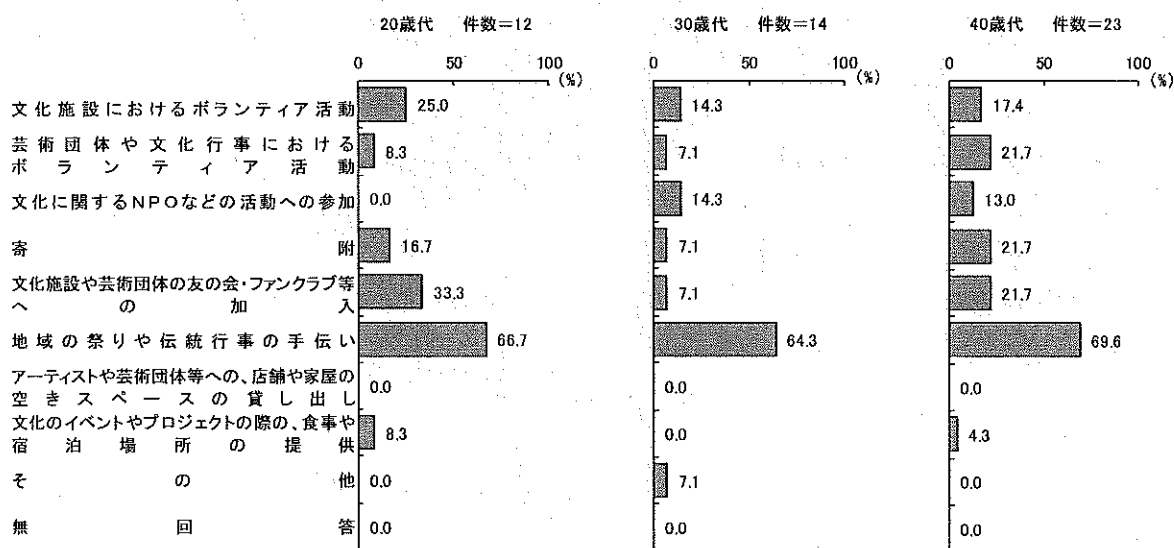
文化・芸術に対する支援活動に参加したことが「ある」人（147人）の活動内容の第1位は「地域の祭りや伝統行事の手伝い」で70.1%と圧倒的に高い。次いで「寄附（チケット代金以外の資金の提供）」が25.1%、「文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入」が17.8%となっている。

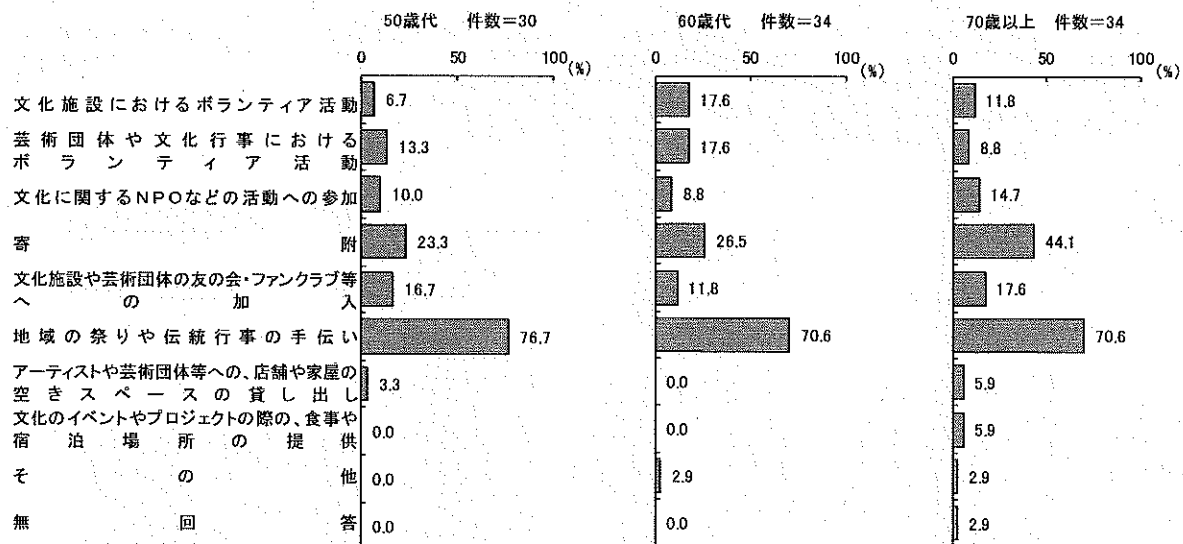
過去の調査と比較すると、「芸術団体や文化行事におけるボランティア活動」は平成18年度から、「文化施設におけるボランティア活動」、「寄附」、「その他」は平成21年度から減少傾向で推移している。

<年代別>

いずれの年代も「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が最も高くなっている。第2位は20歳代では「文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入」となっている。30歳代では「文化施設（美術館、博物館、劇場、ホールなど）におけるボランティア活動」、「文化に関するNPOなどの活動への参加」が同率となり、40歳代では「芸術団体（劇団、楽団など）や文化行事におけるボランティア活動」、「寄附（チケット代金以外の資金の提供）」、「文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入」が同率となっている。50歳代、60歳代、70歳以上では「寄附（チケット代金以外の資金の提供）」となっている。

【図4-9-ii 年代別 支援活動の内容】

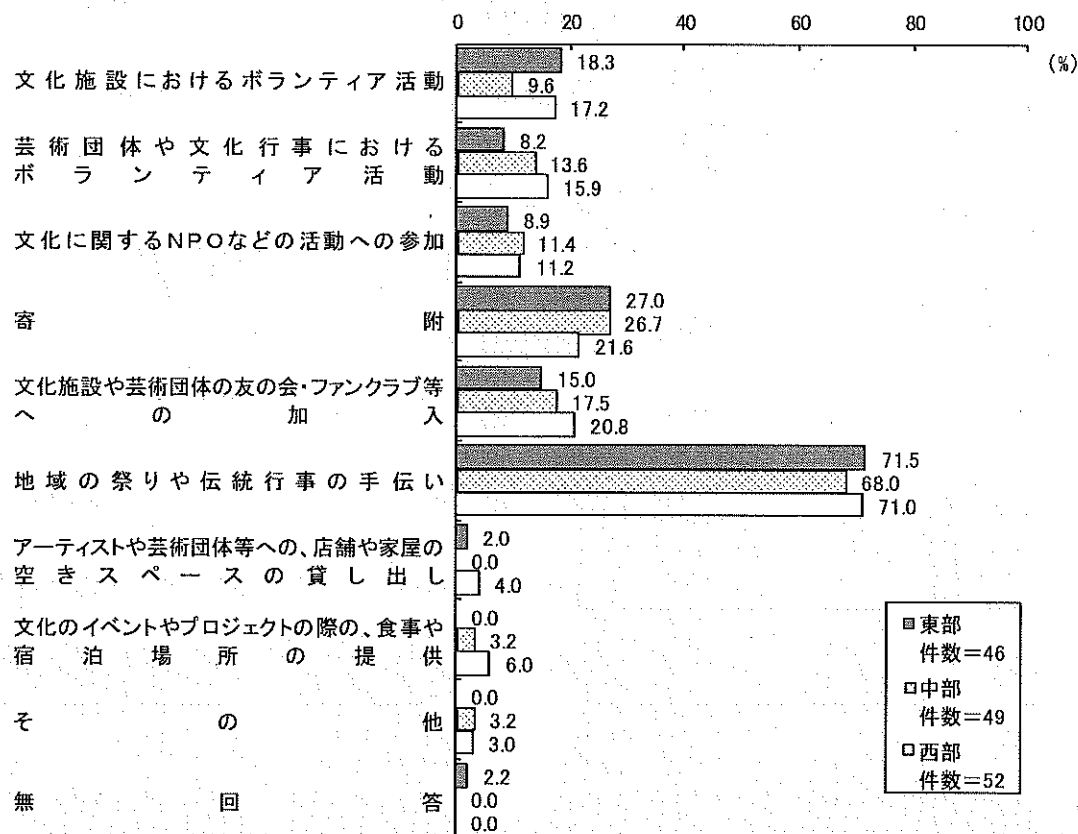




<地区別>

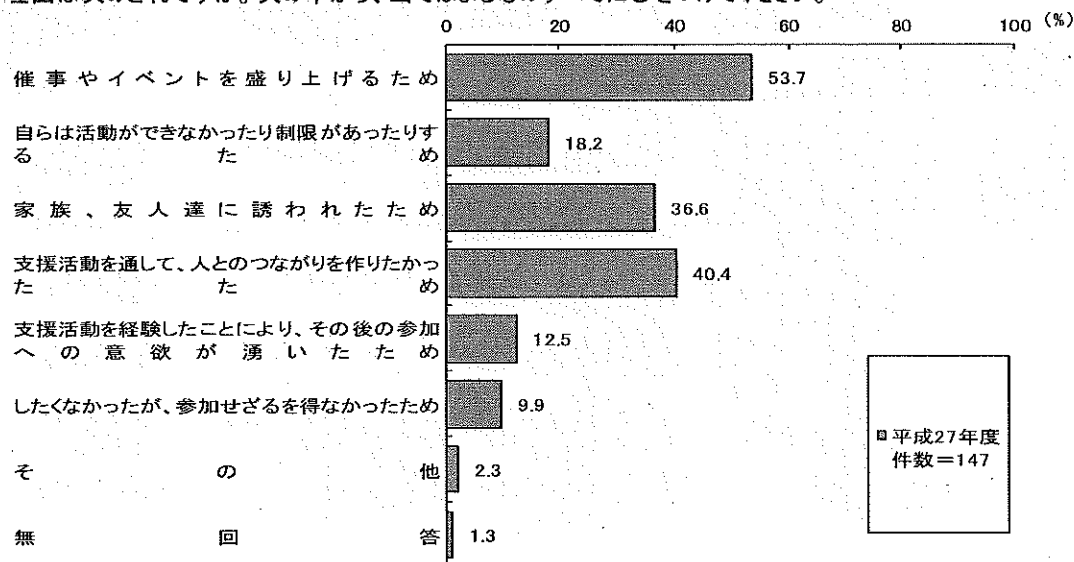
いずれの地区も第1位が「地域の祭りや伝統行事の手伝い」となり、第2位が「寄附（チケット代金以外の資金の提供）」となっている。第3位は東部地区では「文化施設（美術館、博物館、劇場、ホールなど）におけるボランティア活動」となり、中部地区、西部地区では「文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入」となっている。

【図4-9-iii 地区別 支援活動の内容】



4-10 支援活動参加理由

問37 問35で「1. ある」と回答された方にお聞きます。あなたが文化に対する支援活動をする理由は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



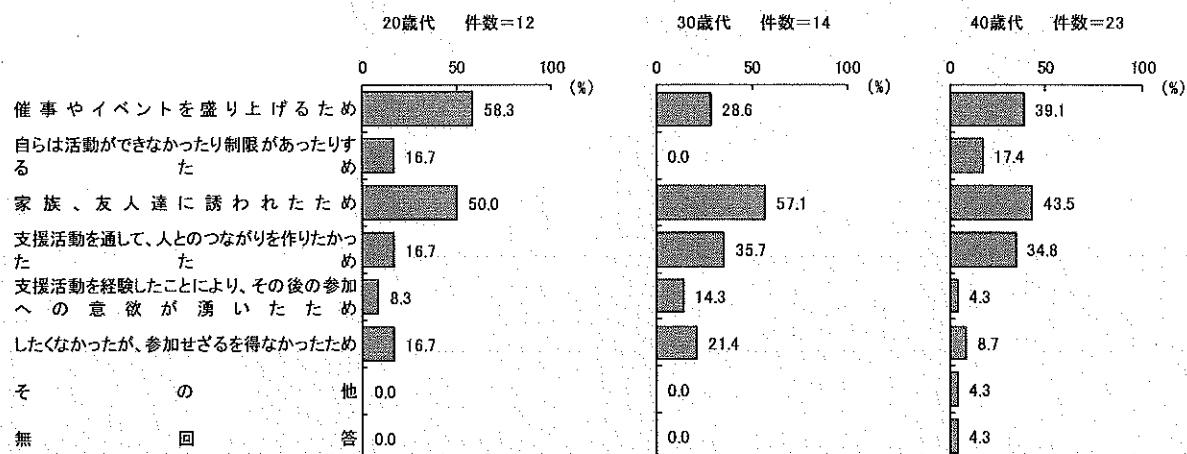
<全体>

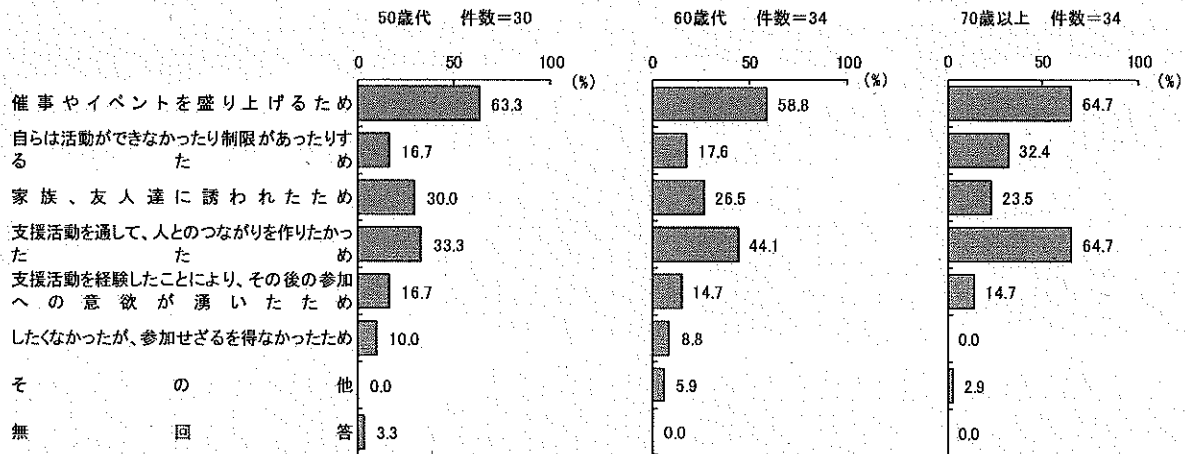
文化・芸術に対する支援活動に参加したことが「ある」人（147人）の参加理由の第1位は、「催事やイベントを盛り上げるため」で53.7%、次いで「支援活動を通して、人とのつながりを作りたいため」が40.4%、「家族、友人達に誘われたため」が36.6%と続いている。

<年代別>

20歳代及び50歳代から70歳以上では、「催事やイベントを盛り上げるため」が第1位となっている（50歳代63.3%、60歳代58.8%、70歳以上64.7%）。70歳以上は「支援活動を通して、人とのつながりを作りたいため」も64.7%で同率第1位となっている。

【図4-10-i 年代別 支援活動参加理由】

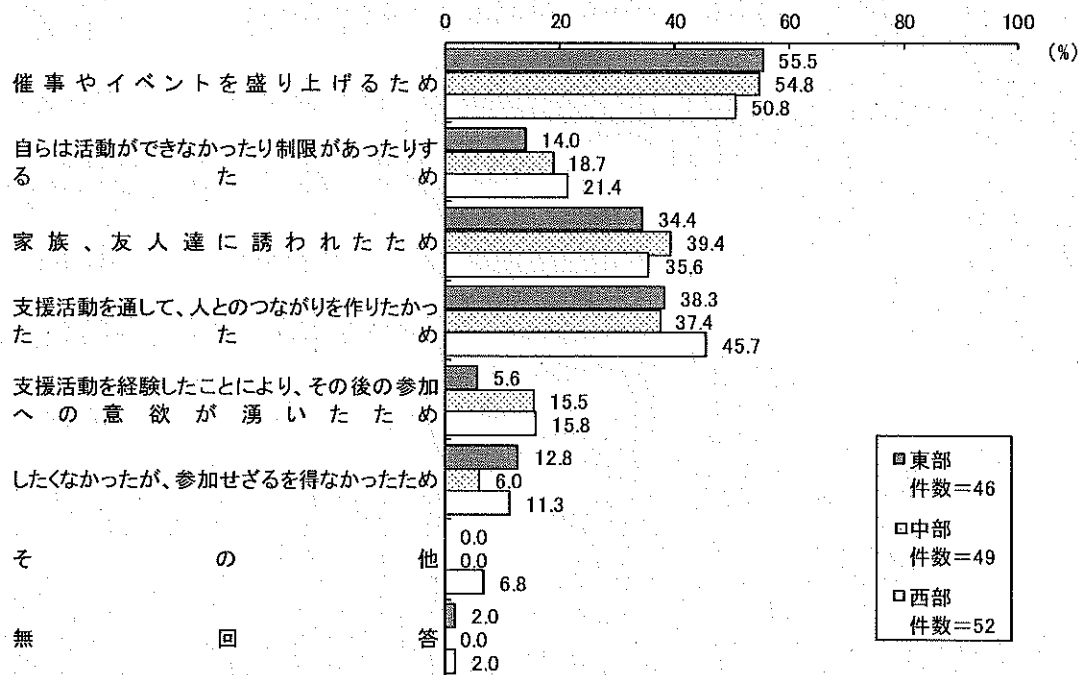




<地区別>

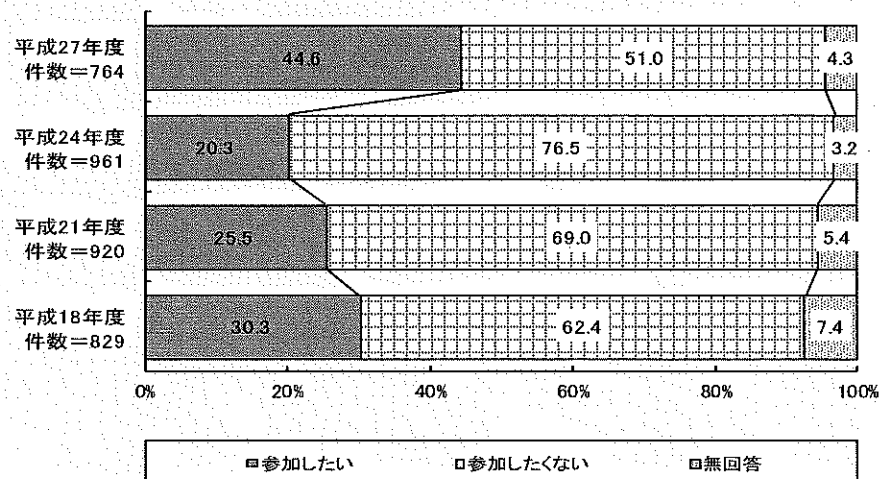
いずれの地区も「催事やイベントを盛り上げるため」が1位となっている（東部地区55.5%、中部地区54.8%、西部地区50.8%）。「支援活動を通して、人とのつながりを作りたいため」は西部地区が45.7%と最も高く、東部地区と中部地区が3割台であるのに対しても高い割合となっている。

【図4-10-ii 地区別 支援活動参加理由】



4-11 支援活動参加希望の有無

問38 すべての方にお聞きます。あなたは、今後、文化・芸術に対する支援活動(ボランティア)に参加したいと思いませんか。



<全体>

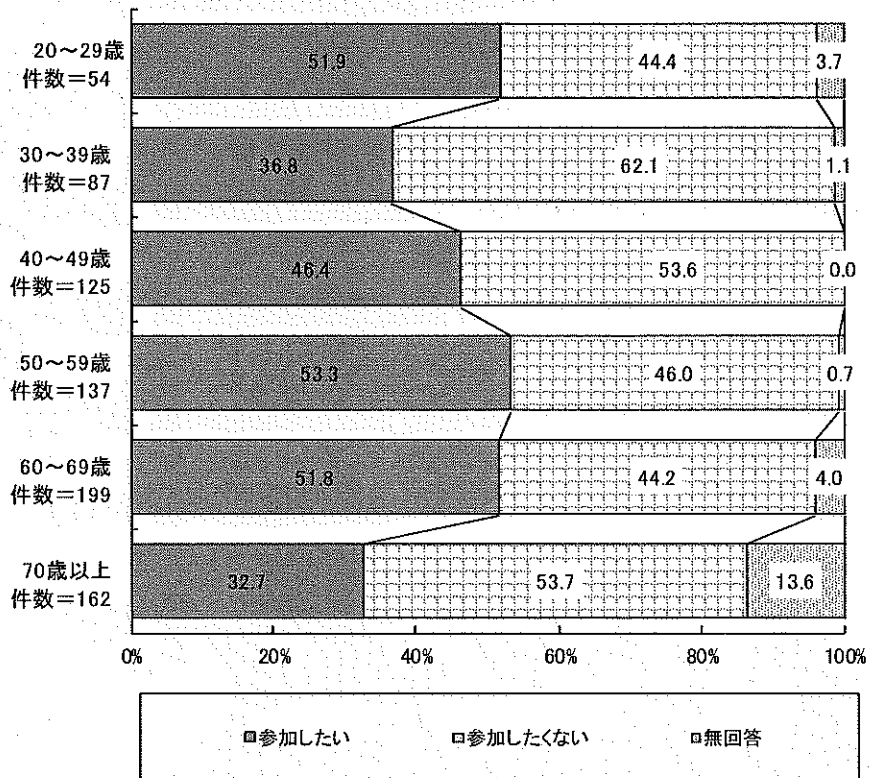
今後、文化・芸術に対する支援活動に「参加したい」は、44.6%と半数に近い割合で、「参加したくない」は51.0%となった。

過去の調査と比較すると、平成24年度の20.3%に比べ「参加したい」とする割合は大きく増加した。

<年代別>

「参加したい」割合が最も高いのは、50歳代で53.3%に上った。以下、20歳代で51.9%、60歳代で51.8%と続き、最も参加意向の割合が低いのは70歳以上の32.7%であった。

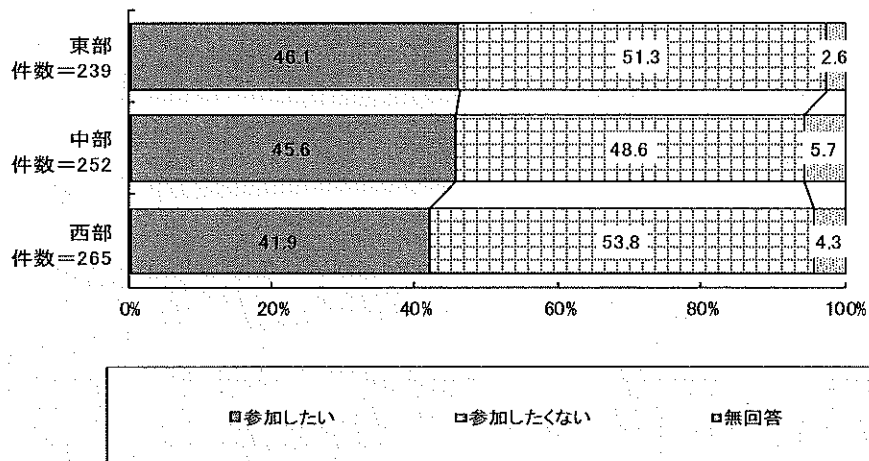
【図4-11-i 年代別 支援活動参加希望の有無】



<地区別>

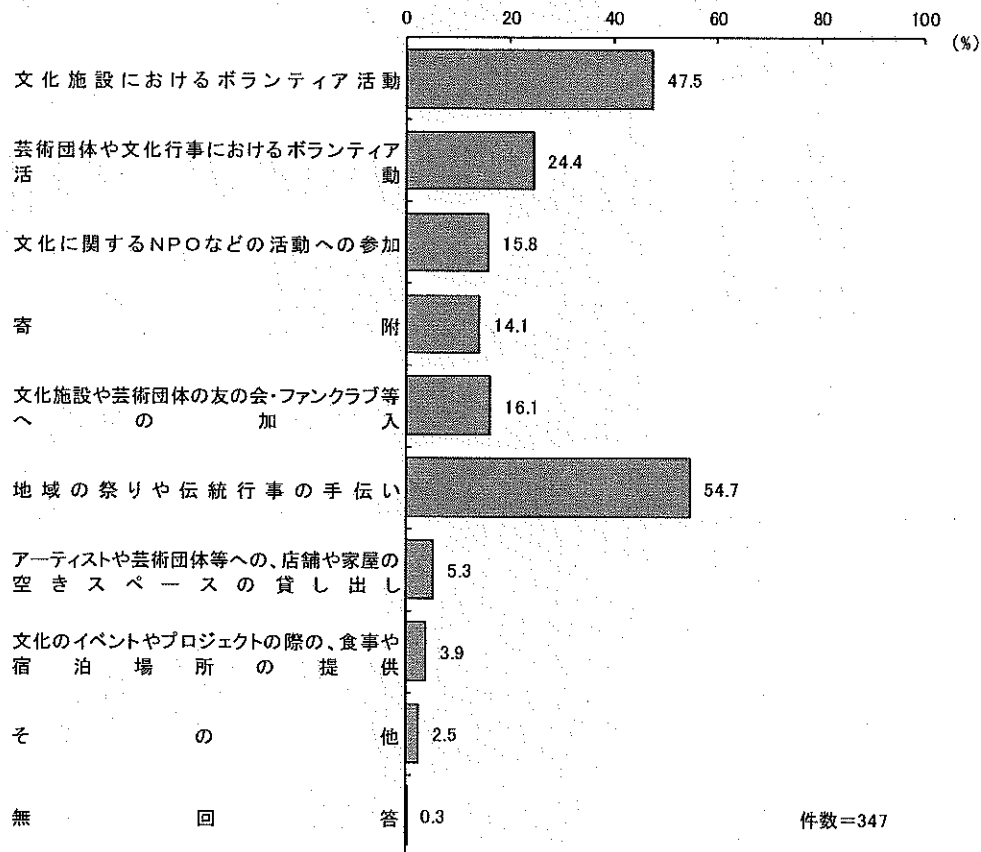
「参加したい」割合が高い順に、東部地区46.1%、中部地区45.6%、西部地区41.9%となっている。

【図4-11-ii 地区別 支援活動参加希望の有無】



4-12 参加したい支援活動

問39 問38で「1. 参加したい」と回答された方にお聞きします。あなたが参加したい文化に対する支援活動は次のどれですか。次の中から、当てはまるものすべてに○をつけてください。



【図4-12-i 参加したい支援活動】

【項目】	<調査年度>		
	H21	H24	H27
文化施設におけるボランティア活動	61.7	51.9	47.5
芸術団体や文化行事におけるボランティア活動	31.5	33.3	24.4
文化に関するNPOなどの活動への参加	27.2	21.2	15.8
寄附	11.1	13.4	14.1
文化施設や芸術団体の友の会・ファンクラブ等への加入	17.9	22.2	16.1
地域の祭りや伝統行事の手伝い	-	-	54.7
アーティストや芸術団体等への、店舗や家屋の空きスペースの貸し出し	-	-	5.3
文化のイベントやプロジェクトの際の、食事や宿泊場所の提供	-	-	3.9
その他	3.4	3.9	2.5
無回答	3.0	5.5	0.3

<全体>

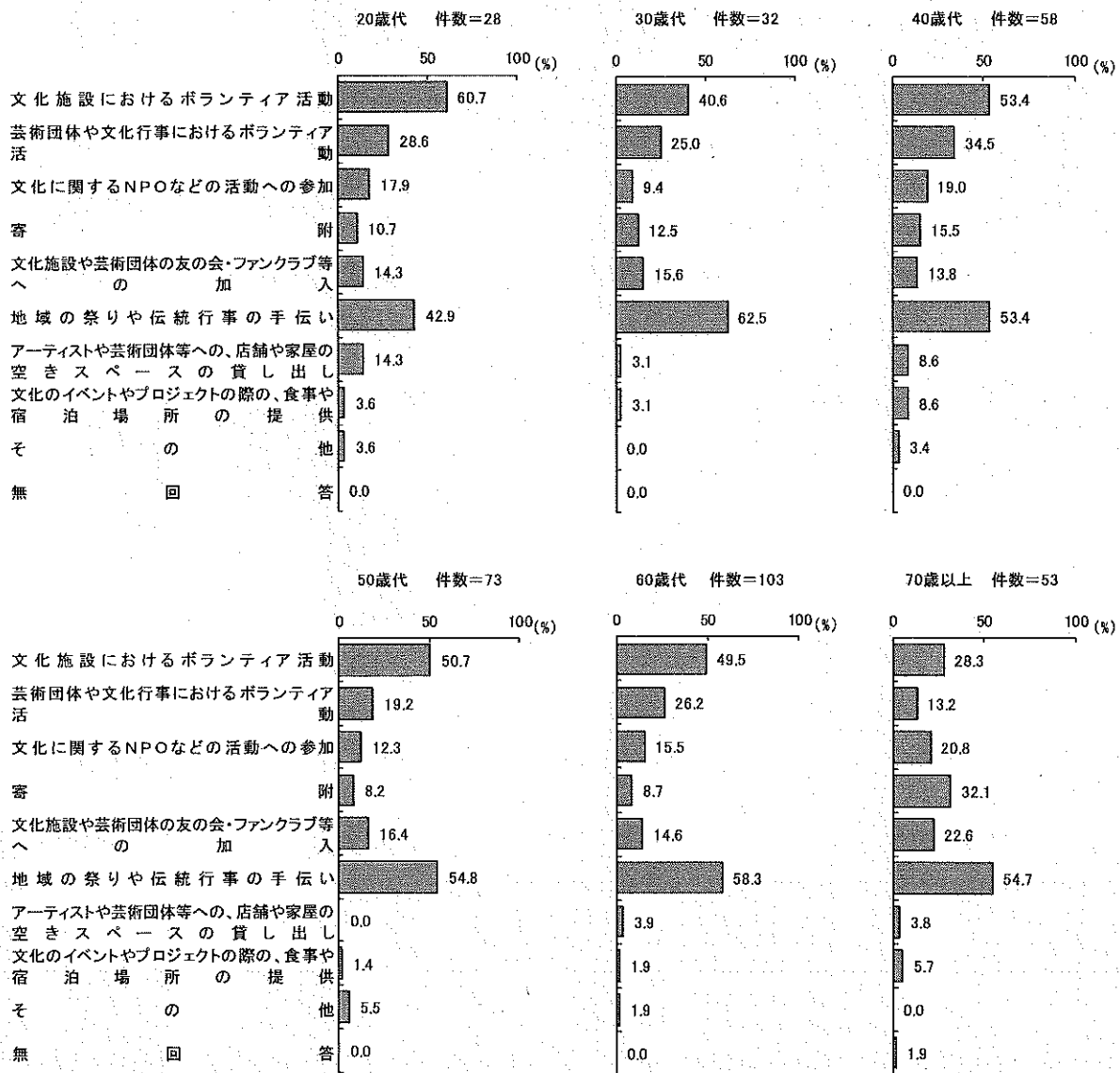
文化・芸術に対する支援活動に「参加したい」と回答した人（347人）の活動内容の第1位は、今年から新規に追加した「地域の祭りや伝統行事の手伝い」で54.7%、次いで「文化施設におけるボランティア活動」が47.5%、「芸術団体や文化行事におけるボランティア活動」が24.4%の順となった。

過去の調査と比較すると、「文化施設におけるボランティア活動」が平成21年度（61.7%）、平成24年度（51.9%）において最も高かったが、平成27年度にかけては減少傾向にある。

<年代別>

30歳代から70歳以上では、「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が第1位となっている（30歳代62.5%、40歳代53.4%、50歳代54.8%、60歳代58.3%、70歳以上54.7%）。40歳代は「文化施設におけるボランティア活動」も53.4%で同率1位となっている。20歳代は「文化施設におけるボランティア活動」が60.7%で第1位となった。

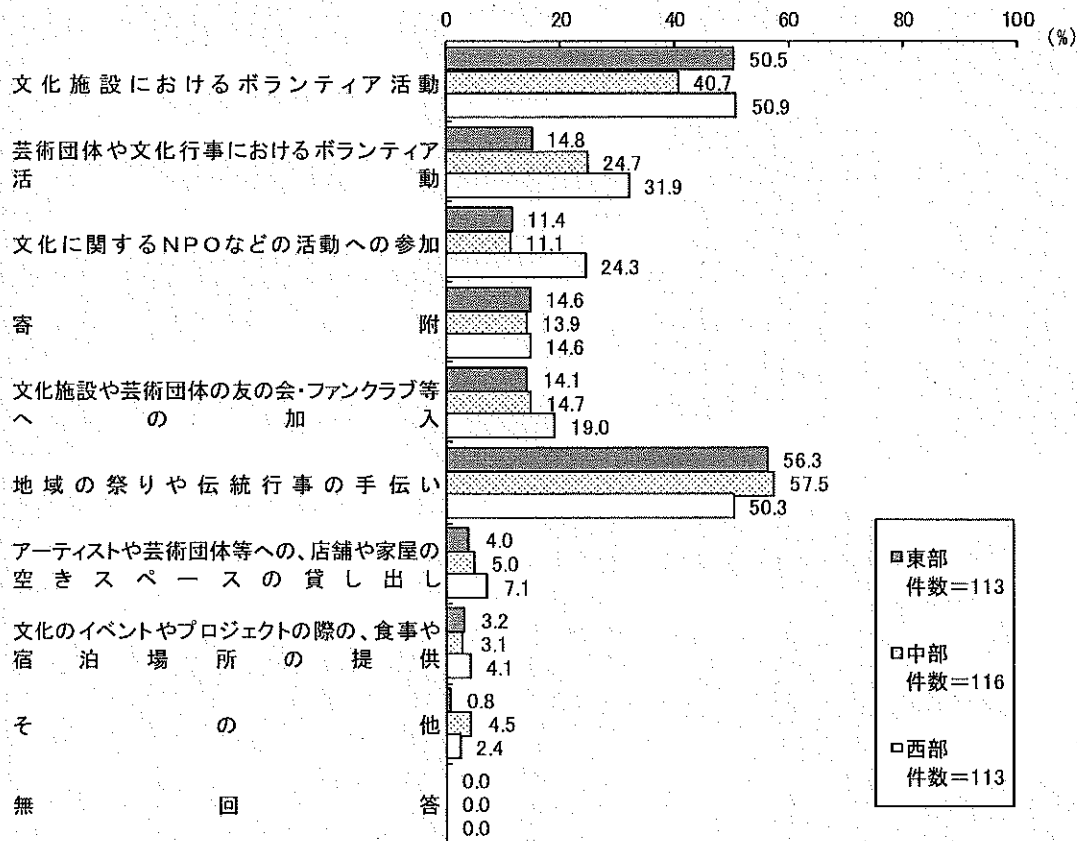
【図4-12-ii 年代別 参加したい支援活動】



<地区別>

東部地区と中部地区では、「地域の祭りや伝統行事の手伝い」が第1位となり（東部地区56.3%、中部地区57.5%）、いずれも次点は「文化施設におけるボランティア活動」となっている（東部地区50.5%、中部地区40.7%）。西部地区は「文化施設におけるボランティア活動」50.9%で第1位となり、僅差で「地域の祭りや伝統行事の手伝い」（50.3%）が続いている。

【図4-12-iii 地区別 参加したい支援活動】



5 意見・要望など

- 「伊賀越え道中双六」の「沼津の段」など地域のものもあるけど埋もれてしまっていると思う。「曾我兄弟」の話など本県ゆかりの話、歌舞伎・講談などもっと広く知れると地域活性にもつながると思う。(30代・男性)
- 「参加したくない」ではなく「出来ない」。介護中のため、時間がとれません。(60代・女性)
- (アンケートに記載された)どちらの施設も駐車場が少なく、また料金も高いと思います。いつも、どこに車を入れようか、何時間も前に行って先に停めようかなど悩んでしまいます。(50代・女性)
- なかなか自分で積極的にやろうと思っても出来ないで、周りの人達や県や市できっかけをつかめる様にイベントや催事を今以上に宣伝してほしい。まだまだ知らない地域の催事があつたりすると思うので公表して欲しい。(50代・女性)
- 一流アーティスト公演をもっと多く開催して欲しい。会場周辺の環境を豊かに。折角会場に行くなら、もっと多様楽しめる雰囲気、施設が欲しい。その日を有効、有意義に活かしたい。(70代以上・男性)
- 駅に近い所の美術館が、近くて嬉しいです。子供達が本物を見る、見られる環境が、すぐ後で心に残り大切だと思う。子供達にテレビでなく沢山映画を見たり、ミュージカルを観せたい。(60代・女性)
- 高齢者になったので、非活動的になった。(70代以上・男性)
- 自分が興味がある分野だったら参加したい。ストレスを感じてまで参加したくない。今は忙しい。(60代・男性)
- 情報不足。体験型の事業、イベントが少ない。(40代・男性)
- 身近に気軽に参加できる、または鑑賞できる機会をこれからも継続して行って頂きたいと思います。(50代・女性)
- 静岡県は様々な分野において、魅力が沢山ある県でありながら全国、世界へのアピールがとて不得意であると思う。交通面にも恵まれているのに、もったいない。東西南北の広い地域なので、旅行会社などは多くの施設を組み込んでツアーを企画すれば、遠方からのお客さんに対して、有難いと思う。全国版のお出掛け雑誌に、静岡県内の施設がほとんど載っていない。たくさんの魅力ある施設があるのになぜでしょうか。もっと売り込むべきだと思う。幼い子をもつママたちは、時間はあるのにそういう所に行きにくい。キッズスペースを設けたり、格安にするなり、対策をとってくれれば、利用が伸びると思う。小学生以下限定の日などがあると、他者への迷惑も少なくすむかなと思う。(30代・女性)
- 内容によって、自分の納得できるものについては参加したい。(50代・男性)
- 文化、芸術に関わるには、経済的、時間的余裕の有る事が必要です。時間給数百円の臨時雇用で生活費を得ている人達には“観賞したい”“習得したい”と望んでも無理があります。収入格差が顕著な現在。公務員や安定企業の正社員、厚生年金の受給者以外の人達には縁遠い世界です。(50代・男性)
- 静岡県はお茶の生産が日本一ですが、私は茶道を習ったことがありません。子供達を含め、県民が茶道を習い、お茶に親しみと他県や外国人に広めるとお茶の消費拡大にも通じると思います。舞台芸術センターがもっと県民に愛されるために、静岡市をのみの活動だけでなく、自分の住んでいる所のホール(400名程度)にも出張し、親子で割引するチケットを配布して、活動を理解してもらおうと同時に、舞台芸術の素晴らしさを鑑賞してもらえればもっと理解が得られ、寄付も集まるのではないかと思います。(50代・男性)
- 文化芸術鑑賞する場所としては、グランシップや県立美術館より静岡駅周辺の方が交通の便もよく行きやすいので見に行く機会が増えると思う。アーティストや芸術団体等への店舗や家屋の空きスペースの貸し出しも無料でなければ考えてもよい。けっこう広い場所があるので食事や宿泊場所も折り合いがつけば考えてもよい。条件次第。静岡県出身の小説家、産業に貢献した人、女子教育の学校を作った人、世の中の人に役立つ発見をした人などをまとめた偉人館などを県都の静岡に作るよと思う。静岡県は、富士山を中心に色々な観光資源を使って、もっと観光に力を入れてお客さんを招くとよと思う。コース作り次第だと思う。(60代・女性)
- 3人の子供を育てながら仕事をしているため、なかなか文化活動ができませんが、音楽、書道は子供の頃習っていたので、またやってみようという気持ちがあります。お茶やお花、絵画など興味をもっています。忙しいながらも今は子供の音楽祭・ピアノの発表会、合唱コンクール、美術展を楽しんでいます。(40代・女性)
- SPACに多額の県費を使うことには疑問を感じる。誰の為に劇団になっているのか。劇団(それもあまり馴染みのない公演を行う)を県が持つべきか。本当に県民の為にしているのかを今までの活動/費用/収入すべてを県民の前に出して再検討する必要があると思う。①県民の参加率 1公演の観客の数/席数 年間観客数。②SPACにかかる費用/収入/年間(平成7年より)(支出)劇団員の給料/総監督の給料/県で関わる人の給料 公演会場費/遠征費 山の中の劇場の管理費(収入)公演での収入 現在市などはカルチャーセンター等に補助をしていて、大勢の市民が絵/音楽その他楽しんでる。県のレベルでは、静岡県の特性を考え、学校での音楽教室に力を入れたらどうか。(県の産業・楽器をよりPRするのも兼ねて)県の美術館などはとても良いと思う。(70代以上・女性)
- ある程度美術展が開催できる様な会場が浜松市に欲しいです。(60代・男性)
- アンケートで知った事がいくつかありました。(50代・女性)
- アンケートに答える自分が、あまりにも世間の事に疎く毎日の生活に追われ友達のお誘いにも乗れない現状です。孫と共働き夫婦の手伝いで終わりそうです。こんなはずのライフサイクルではなかったのが、定年後も家事の重圧に耐えています。もっと文化芸術に親しみたいと思っています。(60代・女性)
- いろんな活動に出席したくても自分の時間が無い。(70代以上・男性)
- このアンケートによって、知る事が出来た事もあったので、アンケート送って頂き、ありがとうございました。そもそも[文化]に対して、関心が薄い私でしたが、これをきっかけに、積極的に参加出来れば良いと思います。(30代・男性)
- この様な振興は益々数を増やして行って下さい。(70代以上・男性)
- これからの子供達、学生に文化・芸術を観たり体験したりすることは大切です。しかし、子供達にはなかなか時間がありません。学校で観たり、触れたりする機会がもう少し増えたら、家庭環境に関係なく、全ての子供・学生にそういう機会が増

えます。文化・芸術に対する意識が高まるのではないのでしょうか。でも、そのためには、一部の大人だけでなく、親や家族の協力も必要です。無関心ではダメで、興味をもつ、楽しむ。という姿を見せることが大事かと思われます。(40代・女性)

- ・ サントリーホール、ミュージザ川崎レベルのコンサートホールが、静岡市にあれば良いと思います。(50代・男性)
- ・ しばらく、美術から遠くなっていましたが、久しぶりに芸術について、考える時間ができました。ありがとうございます。小学生から、先生に就いて絵を描き、高校も美術デザイン科で油絵を描いていましたが、夢を追い事に限界を感じ、食文化への道に進みました。パティシエという仕事について12年ですが、製菓も美術につながる所があります。小さいうちから様々なものに触れて、見て、感じる事は、大人になってから役に立つものです。子供達に、たくさん美術に触れる機会を与えて下さい。私も、そろそろ3才になる娘を美術館などに連れて行ってあげたいと思います。夫の父親も福井県で芸術活動を行っています。陶芸家です。(30代・女性)
- ・ SPAC に対する外部の評価も高く、活動には理解も、評価しているが、もっと県内の伝統芸能の保存や伝承の支援を市町任せにせずにも県も積極的に関わるべきではないでしょうか。特に山間部の方は流転が激しいことから、そのうちに伝承が途絶えてしまう地域の伝統芸能が発生するのはと危惧します。芸能のみならず県内の各地域で受け継がれてきた文化(伝統工芸なども含め)を、まだなんとか伝えられているうちに次の世代に伝えられるようなサポートを各市町とともに積極的に取り組むべきです。(70代以上・女性)
- ・ すべて体次第です。(70代以上・男性)
- ・ どちらかと言うと、文化、芸術は、興味がなく好きではありません。今思っているのは、浜松に新しい球場と独立リーグの野球チームができればいいということです。ただ、浜松駅周辺は活気がありません。「なんとかならないかなあ」と、時々は思います。(50代・女性)
- ・ なるべく早い内に多くの体験をすることが重要なので就学前には上質な音楽や芸術に触れて、目や耳を鍛えさせるべきだと思う。若者にアピールするにはアイドルが一番だと思うので、大規模なイベントを開催すべきだと思う。幸いにして多くのアイドルグループに静岡出身者が所属しているので『富士山アイドルサミット』と称して有名なアイドルを集めて、「静岡とアイドル」や「自分達の将来」について話し合ってもらったり、最後に観客も含めてみんなで歌い踊ったらいいいと思います。確実に全国から人が集まるし、県内の子供は低料金にして特別エリアを作ってなるべく近くで体験できるようにすれば、夢や希望、良い影響を与えられると思います。同じようにスポーツも重要だと思う。(40代・男性)
- ・ ホール等の会場へ行く交通手段がもっと駅前とか電車一本だけで行かれる場所にあればいいなあと思います。私はいつも一人で行くのですが気も遣わずその物に集中できるのでそうしていますが、電車、バス乗り替えて行かなければならないと、とても気になるものでも辞めようというも諦めてしまっています。(60代・女性)
- ・ ボランティアするような時間がない。(30代・男性)
- ・ ボランティアには参加したいと思いますが、参加の方法が分かりません。富士市にもう少し文化・芸術に力を入れてほしいと思います。ボランティア参加方法を教えてほしい。(50代・女性)
- ・ ボランティアに頼るのは良くない形です。県が施策し、推進して達成して頂きたい。(50代・女性)
- ・ ボランティア活動をするより自分の生活のために働かなくて

はいけないので。(30代・女性)

- ・ まずは自分自身の暮らしている地域を大事にする事からだと思う。遠くに目を向ける前に足元からだ。(50代・女性)
- ・ まったく参加がしたくないという訳ではなく、居住地が過疎地にある事。今の時点では仕事をしていて時間的余裕が無いことなどで参加する機会がない。(60代・女性)
- ・ ミニシアター系を上映する映画館を増やしてほしい。(30代・女性)
- ・ ミュージカルやバレエ公演、特にミュージカルの公演を観られる機会が少ないと思う。予算の問題もあるかと思いますが、歌、ダンス、芝居が一体したミュージカルをぜひ子供達に観せる機会を沢山作ってほしいと思います。(30代・男性)
- ・ もう少し若ければ支援活動してみたいと思うが、残念である。(70代以上・男性)
- ・ もう年ですし、地方に住んでいますので、大きな行事活動にはなかなか参加できません。自分の趣味としてやっている程度です。大きな活動はよく分かりません。(60代・女性)
- ・ 引き続き、鑑賞する側に参加したいと思います。(60代・男性)
- ・ 映画や音楽、個人で楽しむ程度で良いです。特に今は小さい2人の子の子育てをしていて、全く余裕がありません。(30代・女性)
- ・ 何年か前に、長野に旅行に家族で行った時小布施にて盆栽展を見学した時感動して声も出なかった事を思い出します。それからグランシップで開催される時にはよく見学に行っています。浜松での花博等いく度見ても忘れられずに心に残っています。(70代以上・男性)
- ・ 外国人観光客が興味を持てるような、日本独自の文化、芸術体験を増やしてほしい。そのサポートとして、英語など語学に興味のある子供達を集めて色々な体験をさせてあげたい。若者目線だと、どうしてもこのような事にあまり興味を持っておらず年寄りのやる事だと思ってしまうが、国際的な事も交えれば、若い子たちも参加しやすくなると思う。(20代・女性)
- ・ 規模は小さくても、東部地区・伊豆地域での文化振興策を講じて欲しい。(70代以上・男性)
- ・ 興味がなくて申し訳ありません。時間とお金に余裕ができたらと思います。(40代・女性)
- ・ 興味を持つ切っ掛けが中々見つかりません。(40代・女性)
- ・ 県としては大きな施設は必要だと思いますし、静岡市にあることも良いと思いますが、私の日々の生活の中でそこまで出掛けることはできません。市の文化施設(公民館や図書館など)の充実を望みます。(60代・女性)
- ・ 県外の知人が訪れた時、どこに連れていこうか迷います。第一に、交通の便が悪いので文化財があっても車なしでは行けません。もっと手軽な金額で、公演も行ってほしいです。静岡県東部地区にも大きな会場がほしいです。(50代・女性)
- ・ 県内、県外に限らず、体力、気力、経済的な事も含め自分のためになるようなイベントは、行ける範囲で行ったらいいいと思います。余裕のある方、ボランティアに興味をもっている方は行動できると思います。県内の事なのに知らない事が沢山でした。興味が無いから耳に入ってこないのかもしれない。自分が行きたいものなら、調べてでも行くと思います。(50代・女性)
- ・ 県内でコンサートなどをもっと多く開催してほしいです。球場を幅広く活用してほしいです。(60代・男性)
- ・ 県民のため、日頃文化振興にご尽力頂きありがとうございます。今回、偶然ですがアンケートの機会があり、失礼ながら年寄りの意見とお願いをさせていただきます。私は文化芸術には

興味もあり、鑑賞や自ら行ってみたいと思っていますが、なかなか希望するものの機会がありません。またあっても私的なサークルに参加するにはかなり敷居が高く二の足を踏んでしまいます。これは誰でも同じではないかと思しますので、市など公共機関での体験コーナーのメニューを多く開催してほしいと思います。また、当市では美術館や博物館が無く鑑賞するため、少なくとも静岡市などに遠出が必要となり、年寄りには困難です。常設されている静岡市や浜松市が羨ましいですね。文化芸術は、子供の頃の経験や、身につけるのが人格形成に最も大切だと思います。そのためには、音楽や、最近軽視され減少している小中学校の美術工芸などの授業や、これらの社会教育の場を多くして、未来の文化人を多く育ててほしいと思います。(70代以上・男性)

- ・ 県立美術館に、もっと子供達を連れて行きたいと思うが、大人料金が毎月のように行けません。ファミリー向けの料金を設定して、低価格で行くことができるのであれば、より身近に、気軽に利用できると思います(これは、舞台公演、その他の活動に対してでもいいと思います)。折角、“良いもの”を集めていても、料金設定が高いという理由で、観ること、聴くことを諦めてしまうと、主催者側にとっても、県民にとってももったいないことです。様々な知恵と工夫で文化振興を向上させて頂きたいと思います。(40代・男性)
- ・ 現在、自分自身でやる事が多く、ほとんどボランティア活動が困難です。(70代以上・男性)
- ・ 現在、生活をする事に精一杯で、ボランティア活動に参加する時間的・経済的余裕が無い。自分を含め、地域での協調性も失われて協力的でないと思われる。その部分が少しでも解消されれば、文化や芸術に触れたり、協力する事が出来るかと思えます。(60代・男性)
- ・ 現在私は人生の生き妻として盆栽、園芸を鑑賞し、なお植樹の育成を趣味として日々楽しんでおります。(70代以上・女性)
- ・ 現在、小学校に通う娘がおりますが、学校の授業の中で昨年は能、今年は落語など伝統芸能に親しむ機会があり嬉しく思いました。ホールや劇場で実際に鑑賞するのは素晴らしい体験ですが、費用もかかるし誰もが気軽にできることではありません。そういう意味で、学校や公民館、公共の施設などで、お金をかけずに生の演奏や演劇にふれるチャンスを増やせたら、子供たちにも本物への興味、関心が広がっていくのではと思いました。私自身も箏を演奏し、学校や福祉施設などで演奏をさせて頂いております。(40代・女性)
- ・ 個人で気ままな鑑賞は好きですが、高齢のため、活動はとてども致しかねますし、カタカナの新しいことは理解出来ません。(70代以上・女性)
- ・ 高齢のため、自分の体を守るのに精一杯で、ボランティア等、とても出来ません。健康寿命を守るべく努力しています。(70代以上・女性)
- ・ 高齢であり、不自由な体で何が出来るか疑問である。(60代・女性)
- ・ 高齢の為、参加したいが出来ない。(70代以上・女性)
- ・ 国家的に、この先を考えると大変な時代を迎える様に思われます。その様な中でも若者弱者が、希望を持って、生き抜いていける様な事案を考慮した文化振興をお願いしたい。(70代以上・男性)
- ・ 今しばらく体力的に無理なので、希望としては、動ける間は、ボランティア等活動できることです。(60代・女性)
- ・ 今のところ、時間も寄付金もなし。(60代・男性)
- ・ 今は自分が携わっているスポーツで自分自身もプレーし、

子供達の手助けも多少しているので、オペラなどを見るのは好きだが、活動までは出来ない。(40代・女性)

- ・ 今は病気がちなので、参加できない。(60代・女性)
- ・ 今まで、関心が無いのは確かでしたが、どのような活動をしているか、どのようなものがあるか周知する機会がもっとあると身近に感じられていいと思います。(30代・女性)
- ・ 最近、命に対して、低い意識がある様に思う。もっと命に対しての事も力を入れてほしいと切に願う。ペットに対しても、とても憤りを覚える。子育てについても何故?と思う事件多いし、命の授業をした方がいいのではと思う。(30代・女性)
- ・ 有名芸能人のコンサートをやってもらいたい。(40代・女性)
- ・ 参加したいが体が不自由ですので、申し訳ないが参加できません。(70代以上・男性)
- ・ 参加したい気持ちはあるが余裕がない。(50代・女性)
- ・ 参加したい気持ちはありますが、年齢的に無理、迷惑をかけては悪いと思いますので。(70代以上・女性)
- ・ 参加したくないわけではないが、なんとも言えない。(40代・女性)
- ・ 参加したくないのではなく義母(99才)と二人の生活のため、仕事を続けている身としては文化・芸術など時間もお金もなく余裕のない生活をしている者にとって程遠い夢の世界です。ゆっくりと芸術鑑賞できる様になりたいですね。(60代・女性)
- ・ 参加したくない理由、高齢のため、病身通院のため。障害者である由に歩行困難のため。テレビ新聞等を見て芸術的なものは音楽映画等拝見しています。(70代以上・男性)
- ・ 残念ながら年寄りなので参加できない。以前は演劇鑑賞したりしていたが、今はテレビだけ。(70代以上・女性)
- ・ 子供がもう少し大きくなったら、いろんな芸術に、自分も子供も親しむことができるようにしたいです。(20代・女性)
- ・ 子供が安全に楽しく過ごせる場所がほしいです。閉校した小学校など、利用して是非とも活用していただけたらと思っています。なので、ふじのくにミュージアムはとてもいいと思います。(40代・女性)
- ・ 子供が楽しめる演劇等があまり無い気がします。(40代・女性)
- ・ 子どもが参加し、様々な事を体験できる機会を増やして欲しい。人数制限を減らすか、回数を増やして欲しい。子供と会話をしながら、美術品を楽しむような機会が欲しい。(県立美術館では、静かに観賞しなくてはならない雰囲気が高い)(40代・男性)
- ・ 子育て中の為、時間金銭的余裕がない。余裕ができた際にはオリンピック等のボランティアに参加できたら楽しそう。(40代・女性)
- ・ 子供がいるので、美術館などで子供も一緒に楽しめる展示企画がもっと増えると良い(絵本展なども増やす)。夫が毎年地域のお祭りでお神輿をかついでいますが、近年若い世代の参加が少なく、神輿のかつぎ手が不足しています。神輿会のつながりで、多少の手伝いは来てくれるようですが、「こうした祭りがありますよ」という一覧を作って、地域以外からの注目を促し、各祭りを盛り上げる。というのも一つの手かもしれません。(30代・女性)
- ・ 子供達(特に中学生以下の子)に公共の文化施設に自由に無償かお小遣い程度の金額で、入館できるような工夫ができれば良いのかなと思います。芸術は、固定観念のまだない若い頃に数多く体験すれば、それが良い経験となる気がするからです。私はフラワーデザイナーの資格を持っていますが、なかなか活かせず結局普通のサラリーマンをしています。静岡は花の生産量がトップクラスなのに購入量がとても少ないと

- 聞きます。農業高校ではコンテストなどに出展することもあるようですが、もっと小さな頃からお花の文化に触れることがあれば心が豊かな生活を送れるのでは？と思います。(50代・女性)
- ・ 私が勤務する会社でも多くの外国籍の社員が居ます。多様な文化を尊重する事は皮膚感覚で浸透しております。県立美術館は、以前行きました。静かで集中して鑑賞出来る場と考えます。(50代・男性)
 - ・ 私の知識不足なのかPRが少ないのか初耳の団体等があり、もっと色々な事にネットワークを広げなければと思いました。(60代・女性)
 - ・ 私達の生活が豊かになるような調査活動をありがとうございます。70才を過ぎ、自分の為の参加はともかく、ボランティア活動はできなくなりました。これからの若い方が心豊かな生活ができるよう身近な場所で気軽に文化芸術に触れ活動できる行事をお願いします(例、ミニコンサート、ミニ絵画展、生け花、盆栽など)。(70代以上・女性)
 - ・ 事業の行事は主の静岡に集中していると思いますので、田舎に住んでいるものは興味も湧いてきません。一極集中は余り良いものとは感じられません。箱物が多くて県民に良く知れわたる行政にして欲しいと思います。(例：グランシップではどの様な催しを主としているか、アクセスはどうかなど具体的に) (70代以上・男性)
 - ・ 時間に余裕が無く、参加できない状況である。今後、時間ができれば参加してみたいとも思う。(50代・女性)
 - ・ 自分ではなかなか思うように行かないのですが、美術館等に出かけ鑑賞するのは大変好きでよく行きます。しかし東部地区には少ないと思います。御殿場にも一つ美術館があったらなんて希望というか願望です。絵なり書なり音楽なり自分の目で見たり聞いたりするのは大事な事だと思います。これからの若い人達のためにもそういう場が必要ではないでしょうか。(70代以上・女性)
 - ・ 自分の生活に余裕があればできるかも知れないけれど、生活のゆとり、心のゆとりがない今は自分の事で精一杯。体が健康でないと何も始まりません。(60代・女性)
 - ・ 七十才代ぐらい前は新聞広告等で知り、沼津文化センター、沼津キラメッセ、三島佐野美術館、三島楽寿園等に出向き、絵画、書、生け花、盆栽、園芸など楽しみました。八十才過ぎ、現在では人ごみの中腰を曲げて歩く事は人様に迷惑を掛けますので出掛けません。この頃はテレビ、ラジオ、CD(音楽)を楽しんでいます。(70代以上・女性)
 - ・ 若い頃はボランティア活動した事もあるが、年を取るにつれて億劫になりがち。若い人に迷惑を掛けたくない。(60代・男性)
 - ・ 小学生の時に小学校へ劇団が来た時がありました。勉強が苦手な私は、最初は興味が無かったのですが、終わる頃にはもっと観たいと思いました。それまで歴史にまったく関心がもてなかった私が歴史に興味をもった瞬間でした。今でもその時の楽しかった気持ちを忘れていません。なので義務教育中にできるだけ多くの芸術鑑賞や体験教育を受けさせてあげたいと思います。将来の社会に向けて明確な目標をたてる役に立つと思います。(30代・女性)
 - ・ 小学生の娘がいるのですがもっと学校で文化や芸術に触れる授業や見学の機会を増やしてほしい。(40代・男性)
 - ・ 色々とお手伝いしたいのは山々ですが、高齢者の為、体が動かなく迷惑をかけると思います(ボランティア等)。(70代以上・女性)
 - ・ 親が参加する事が学校で多く、これ以上は時間がとれない。

- (40代・女性)
- ・ 人とのつながりを求める部分とわずらわしい部分があり、もうこの年でわずらわしさはいらぬ。(60代・女性)
 - ・ 静岡はプラモデルでも全国的に有名ですが、文化的ではないのでしょうか？ アンケートにも入ってないのがもったいない。(30代・男性)
 - ・ 静岡県には「静岡県」をイメージできるシンボリックキャラクター(ゆるキャラ)が不在な事が残念です。公認で「ふじっぴー」もいますが認知度が低いので対策を取って欲しいと思っています。(40代・男性)
 - ・ 静岡県にはいくつものパブリックアートが設置されているが、ただ「設置」されている物となっている。積極的に見せる事を目的とした、パブリックアートを目指しても面白いのではないのかと思う。(30代・男性)
 - ・ 静岡県の東部地区を置き去りにしている。文化的な事だけでなく、同じ静岡県民として地域の格差を非常に感じる。(60代・女性)
 - ・ 静岡県の文化に関する意識調査によって色々な施設等がある事を知りました。お年寄りにも充実した演劇等もあり、健康で膝の調子がよければ関心を持ってみたいと思いました。(70代以上・男性)
 - ・ 静岡市に住んでいる人はグランシップや美術館を利用する機会もあると思うが、浜松市からだと行くこともない。そのため、必要性を感じない。(40代・男性)
 - ・ 大規模都市だけでなく、田舎でも文化、芸術に触れる機会があると嬉しい。県民全て平等であってほしい。(60代・女性)
 - ・ 長崎へ観光で行って帰ってきたばかりですが、長崎でびっくりした事は皆さんがガイドさん。「ながさきさるく」という団体があって申込しておく時間で希望の所を周ってくださり、細かく案内してもらいました。知識も豊富でした。又、勉強して訪ねてみたくなりました。そんな魅力ある静岡県を紹介してくれる本物の知識をもったガイドさんを養成する必要があると思います。若者でなくてもシニア世代の元気な感じの良い人が適していると思います。(60代・女性)
 - ・ 転職により、休日が不規則になり、余裕がなくなった。(40代・男性)
 - ・ 伝統芸能歌舞伎、相撲、クラシック鑑賞等、小学校、中学校時代に体験できるよう学習プログラムに取り入れてほしい！ 現在60才後半になり、若い時代に体験していたら、もっともっと生活の幅が広がっていたと考えると残念でならない。日本の伝統を守る為にもぜひ体験させてほしいと希望します。(60代・女性)
 - ・ 東京、神奈川、愛知に比べて有名なイベントが開催されない(色々なジャンルが少ない)。グランシップは駅に近くて良いのでもっと色々なジャンルのイベントをやっても良いと思う。(40代・女性)
 - ・ 東部地区に音響設備の良いホールがないので、もっとこれからの子供達の為にも良い芸術に触れられる環境を整えてほしいです。(60代・女性)
 - ・ 東部地区地域は施設・団体に乏しく、残念に思う。乳幼児も参加しやすいイベントが増えることを願う。(30代・男性)
 - ・ 高齢のため頼まれる事もない。年が若い時なら参加したいと思う。(70代以上・男性)
 - ・ 年齢が86才と高齢で地方にいることもあってボランティア活動をすることができません。(70代以上・女性)
 - ・ 年齢的に無理だと思う。(70代以上・女性)
 - ・ 年齢的に無理ですので参加出来ないと思います。(70代以上・女性)

- ・ 農村に住んでおりますが、まだまだ山村には眠っている文化が沢山あります。最近では子供達も増えてまいりました。良き文化を次代の世代にバトンタッチしていくにはどうしたらいいのか皆で考えてゆきたいと思ひます。(70代以上・男性)
- ・ 美術館、博物館、音楽会、映画館など文化に関する全ての入場料を安くして欲しい。(“特別”に行く所ではなく、公園のように自然に足を運べるような場所にして欲しい。)(30代・男性)
- ・ 美術館などへ学生が無料で行かれるのは良いが、親が連れて行く時は大人料金も割引きしてほしい。(40代・女性)
- ・ 浜松在住なので、静岡市のことは知らないことばかりで驚いた。そんなにも施設があるとは思わなかった。たとえ、知っていたとしても、時間と、費用がかかり、度々行けるとは思わない。また、まだまだ働き盛りなので、時間的余裕もないのでボランティア活動をするゆとりはない。将来仕事を辞めた際にはボランティア活動などして、張りのある生活をしたいと常日頃感じている。(40代・女性)
- ・ 浜松市の新美術館建設構想はどうなったのか、強い関心を持っています。市民の表現活動をサポートする役割を務められない現状を改善して欲しいと強く考えています。面積も広く、自由に発表できるスペースを持った美術館の建設を願ひます。(40代・男性)
- ・ 富士山は登る山ではない 見て楽しむ山です。五合より上には登らない方が良くと思ひます。汚れる山になる。神の山で有り遠くから祈る。楽しむ(文化芸術は、好きな時に楽しむ)(70代以上・男性)
- ・ 舞台や演奏会などは、低料金の方が集客できるという考えもありますが質の高いプログラムを県民に提供する為にはある程度高い価格設定になってしまうことは致し方ないという考えの人もいることを覚えていて下さい。(50代・女性)
- ・ 舞台芸術公園(日本平)の所在地ですが、何かいつ利用しているのかと通り抜けます。(60代・女性)
- ・ 文化、芸術等にも関心を持ち生活していける様に思ひます。(40代・男性)
- ・ 文化・芸術を見に行くことはあってもボランティアで支えるには忙しくてできそうもない。つい先日中学卒業後50周年ということで同級会があり出席したが、その時みんなで見に行ったビルマの堅琴や、東京オリンピックの映画やタ鶴の演劇とかの話がでた。中学校の授業か学校行事で 駿府会館か市役所横の劇場で見たりしたと思ひます。影響は大だったと思ひます。今同居している長男たちが子供を連れ親子劇場を見に行ったりしている。子供の頃良質の文化・芸術に触れることはその後の人生を豊かにしてくれると思ひます。お金持ちの家の子は良いが貧しい家の子はお金を払って親が見に連れて行くことは難しい。学校でそのような経験をさせてくれることはありがたい。静岡市は大道芸とか浜松はピアノコンクールとか色んな所が頑張っていると思ひます。(60代・女性)
- ・ 文化や美術が身近なものとなり豊かな生活が送れる県にしてほしいです。(20代・女性)
- ・ 文化施設の利用者(高齢者、障害者、母子、けが人など)を増やし利用を増やすために、階段を減らし、スロープにし、トイレを洋式にし、あちこちにイス(美術館の中、展示室の中、トイレの近く)を置くなどしてほしい。ゆっくり利用できボランティアも増えると思ひます。(70代以上・男性)
- ・ 文化振興といっても、実際は目に見えないだけに難しい。私共も気持ちはあっても年齢的に実行性に乏しい。ただ、県の事業だからといって、一方的にならないよう、参加者(希望者も含めて)の気持ちを十分に感じて(重要なところ)支援して下さい。(70代以上・男性)
- ・ 文化振興に興味を持ち、活動出来る事は、一生を通して人生の活力になる事だと思ひます。何か一つでも関心を持ち、経済的に活動出来る事を見つける機会を作っていけると良いと思ひます。ただ、時間的余裕や生活の状況などで出来ない事も多々有ります。又支援活動の具体的な参加の仕方など知識不足も有ると感じています。(60代・女性)
- ・ 文化振興は大変意味のある事だと思ひます。しかし、催しなどに、人が集まらなると、支出の方が多くなってしまう、負担が増えます。絞り込んだ対策が必要なのではないでしょうか。(50代・女性)
- ・ 文化振興も大事だが、一定の生活水準がある上での需要であって、県民がみんな日々困窮しない暮らしを保障してから、文化を育てていけば良いと思ひます。そうしないと、いくら施設や機会を作ったところで触れる人間は一握りだと思ひます。(20代・女性)
- ・ 文化的活動には、時間の捻出が必要であり、現状、職場までの通勤往復4時間では、残念ながら無理です。定年後にそのような活動が出来るよう、場の提供があれば積極的に参加したいと思ひます。(50代・男性)
- ・ 宝塚花組トップに静岡市出身の方がいます。県内から初めてトップスターさんが誕生したのに、あまり話題にもならず、少し残念に思ひます。静岡で公演して頂けたら喜ひます。(50代・女性)
- ・ 力あふれる美術館を期待しています。(20代・女性)